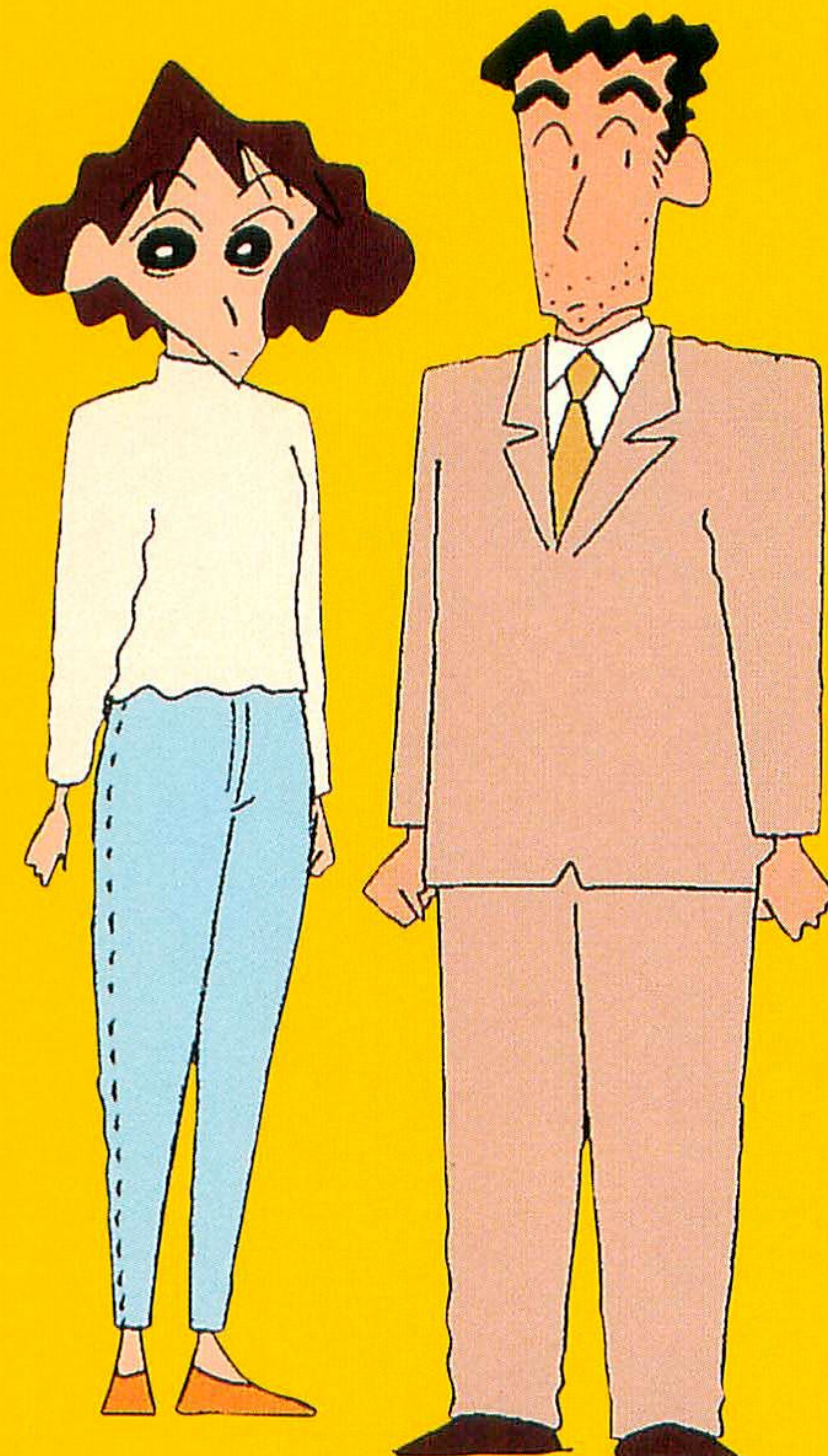
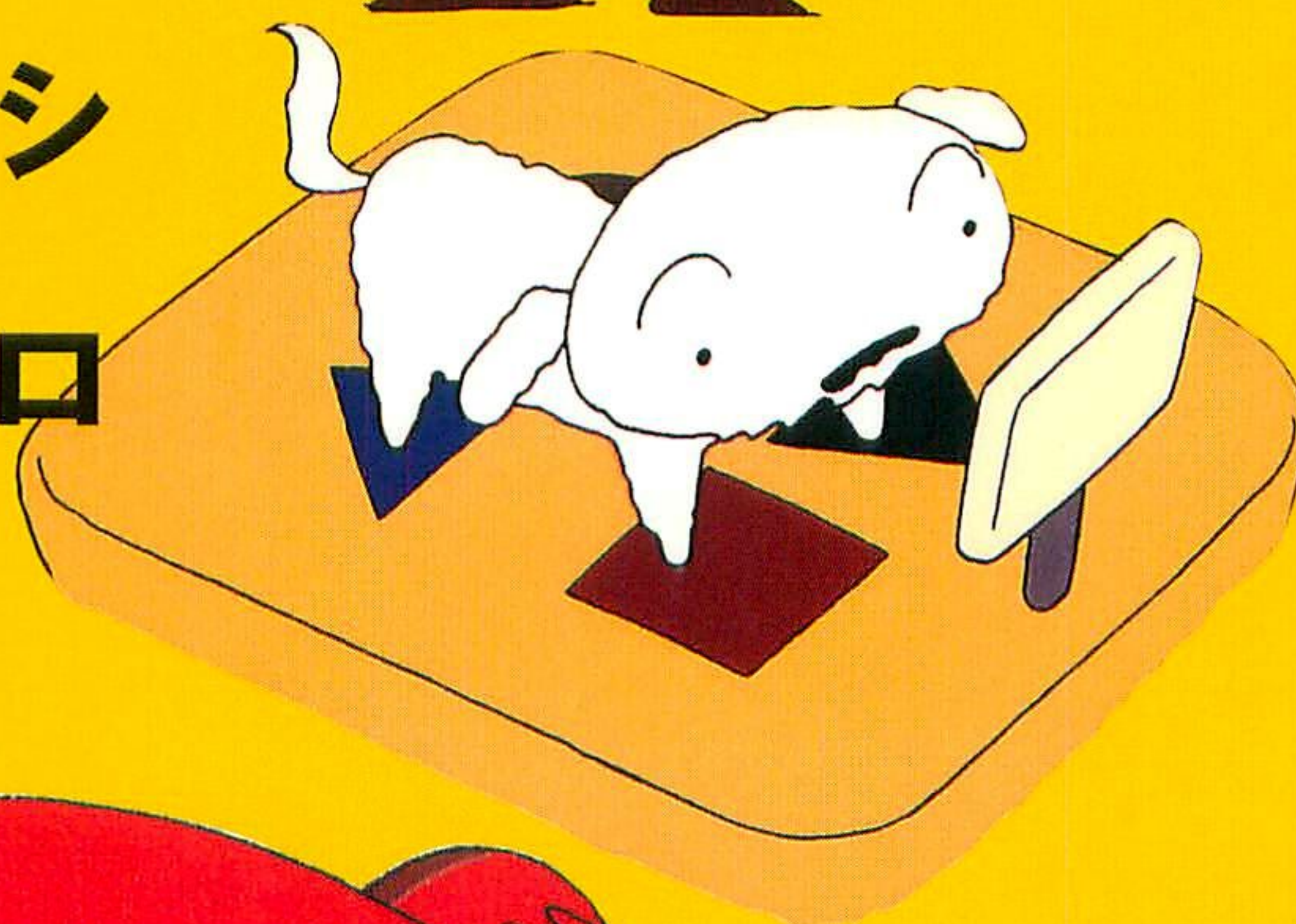
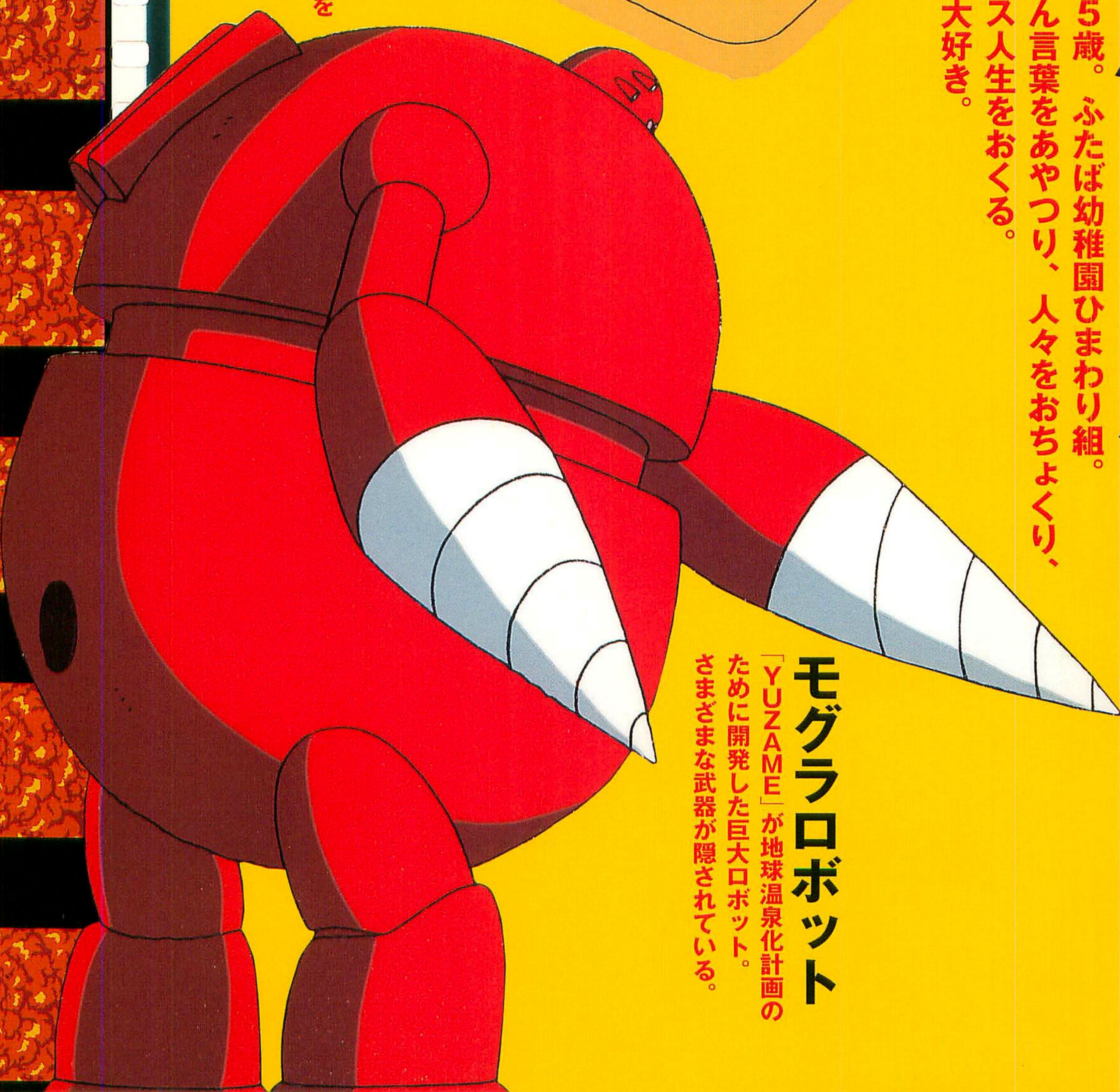
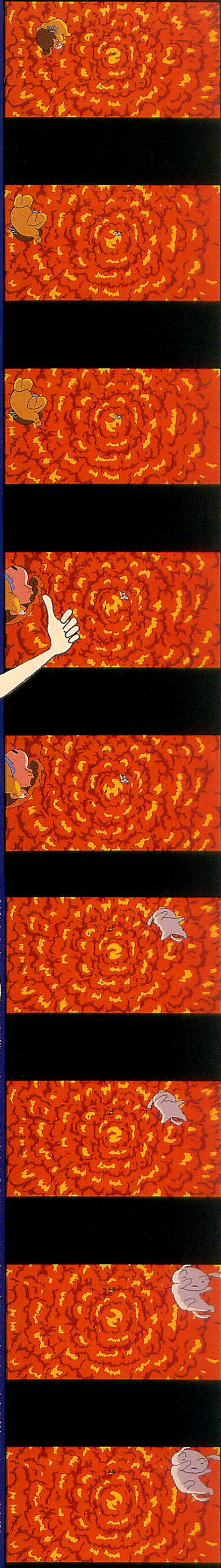
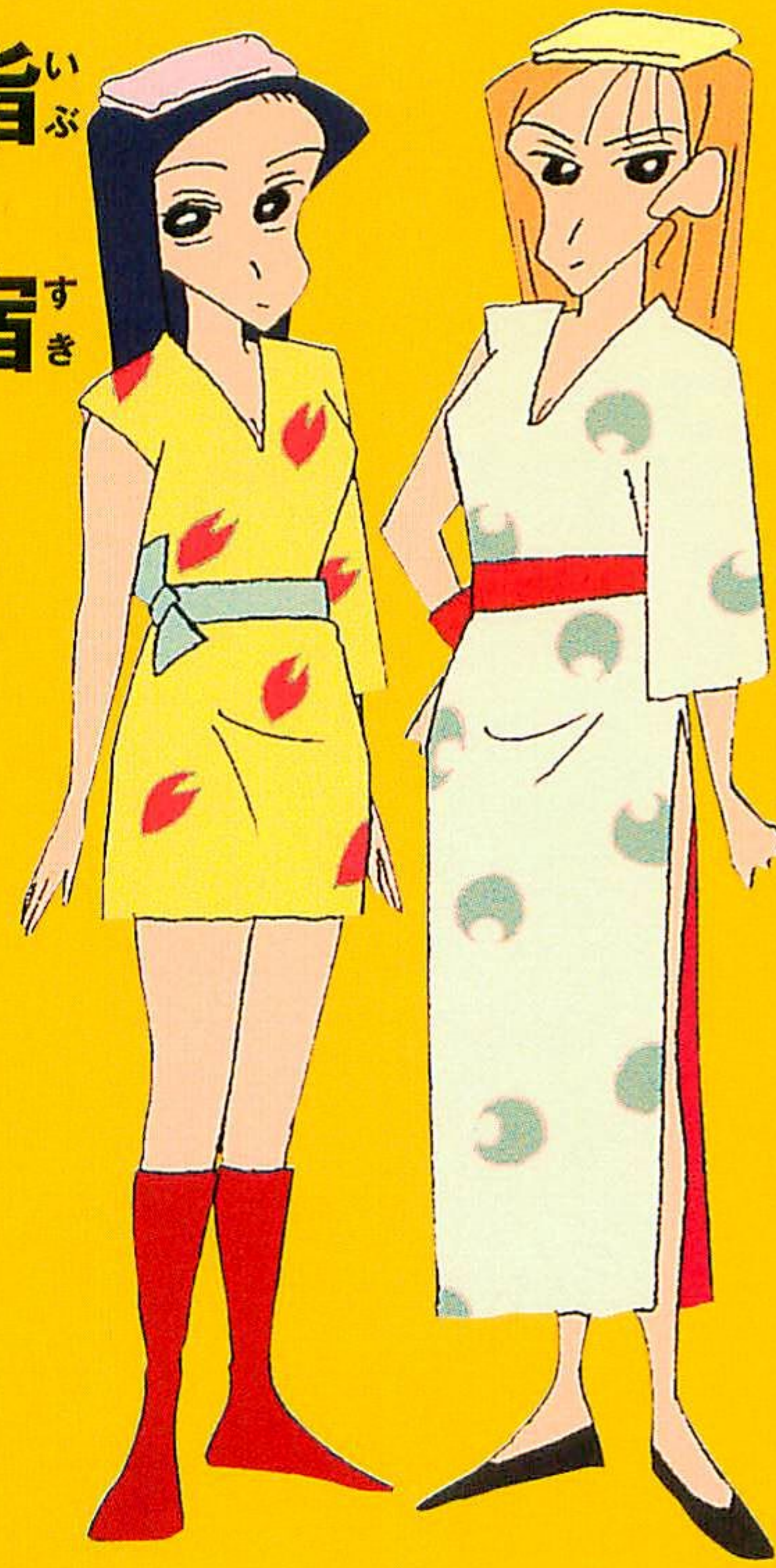
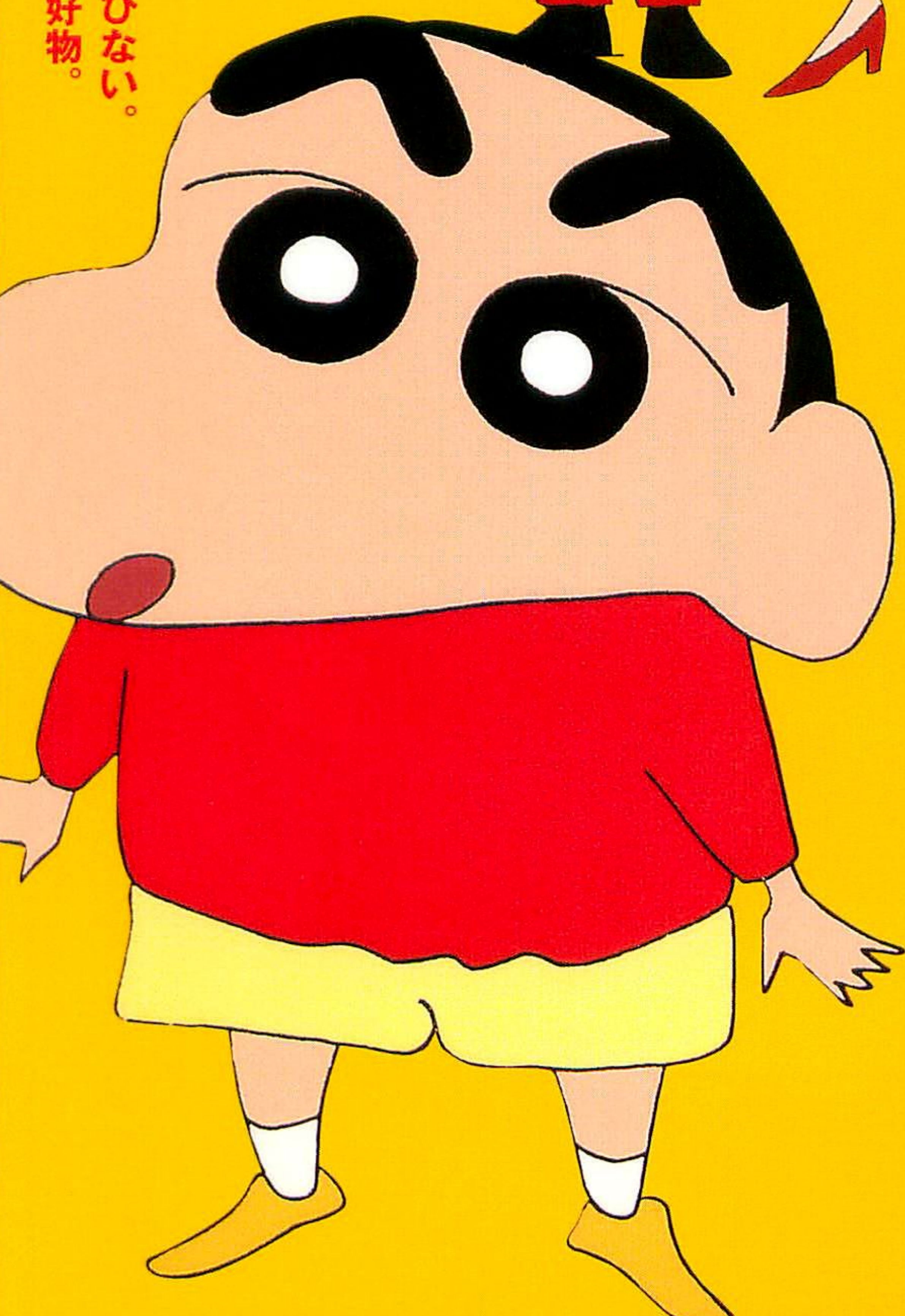
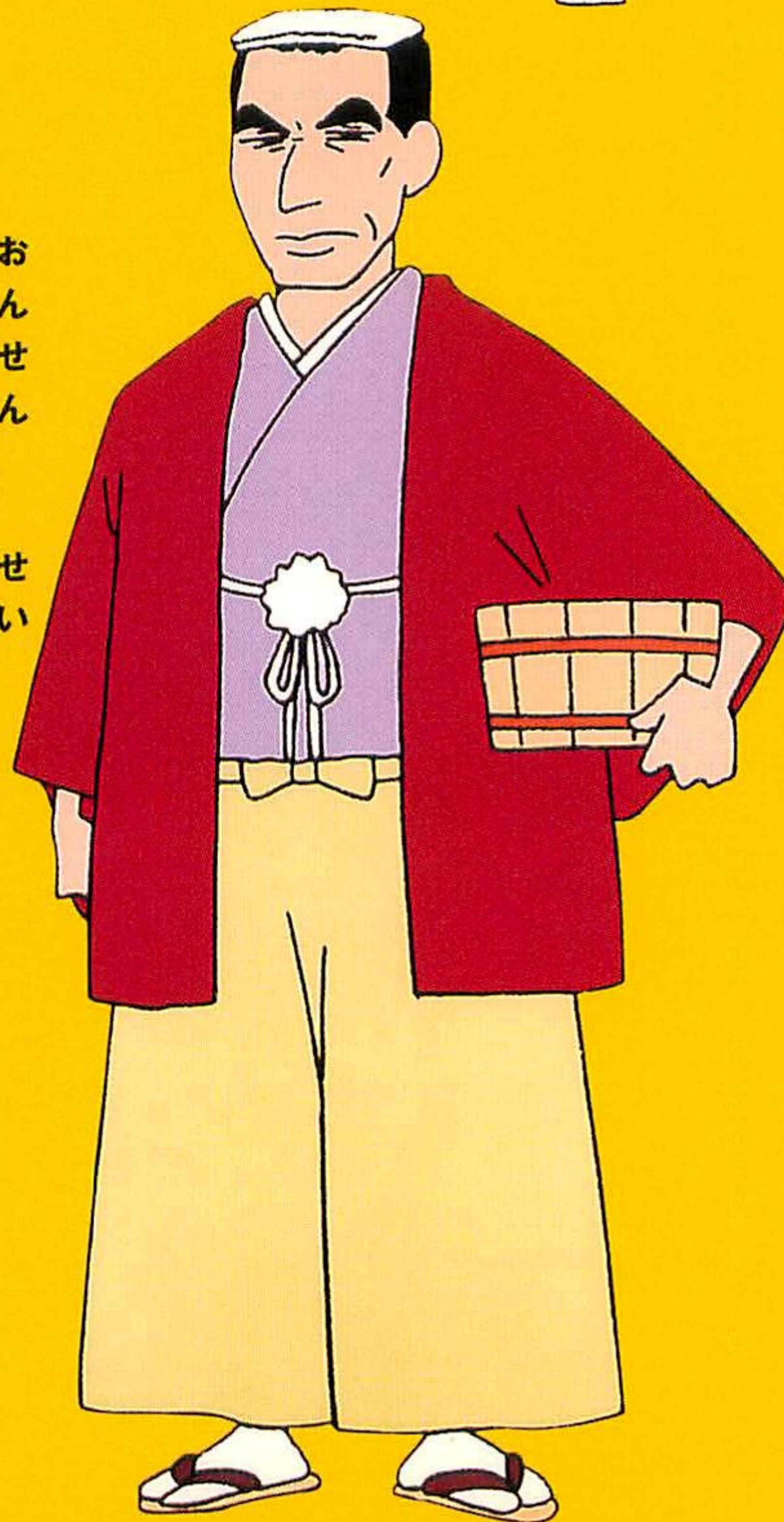
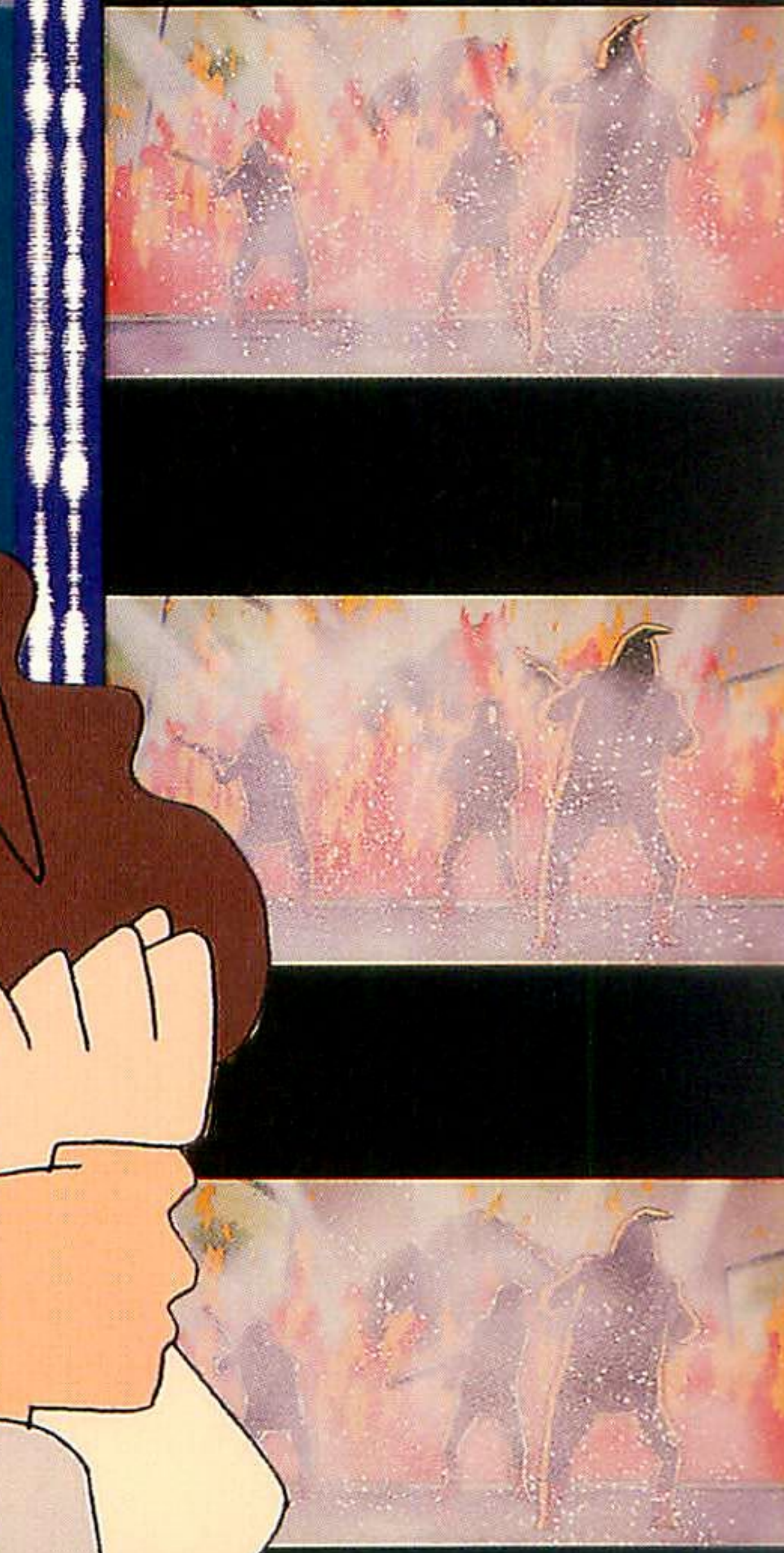
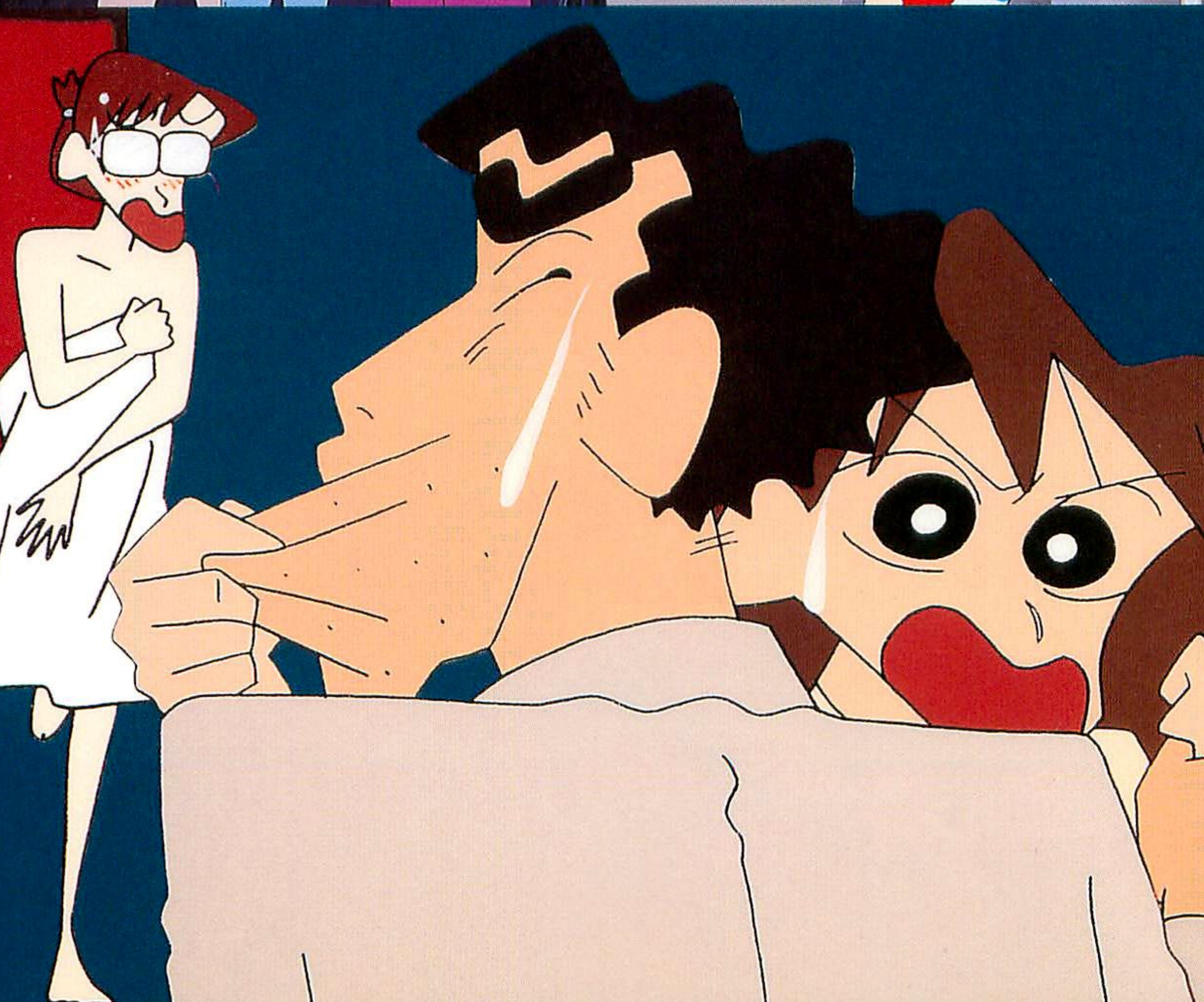
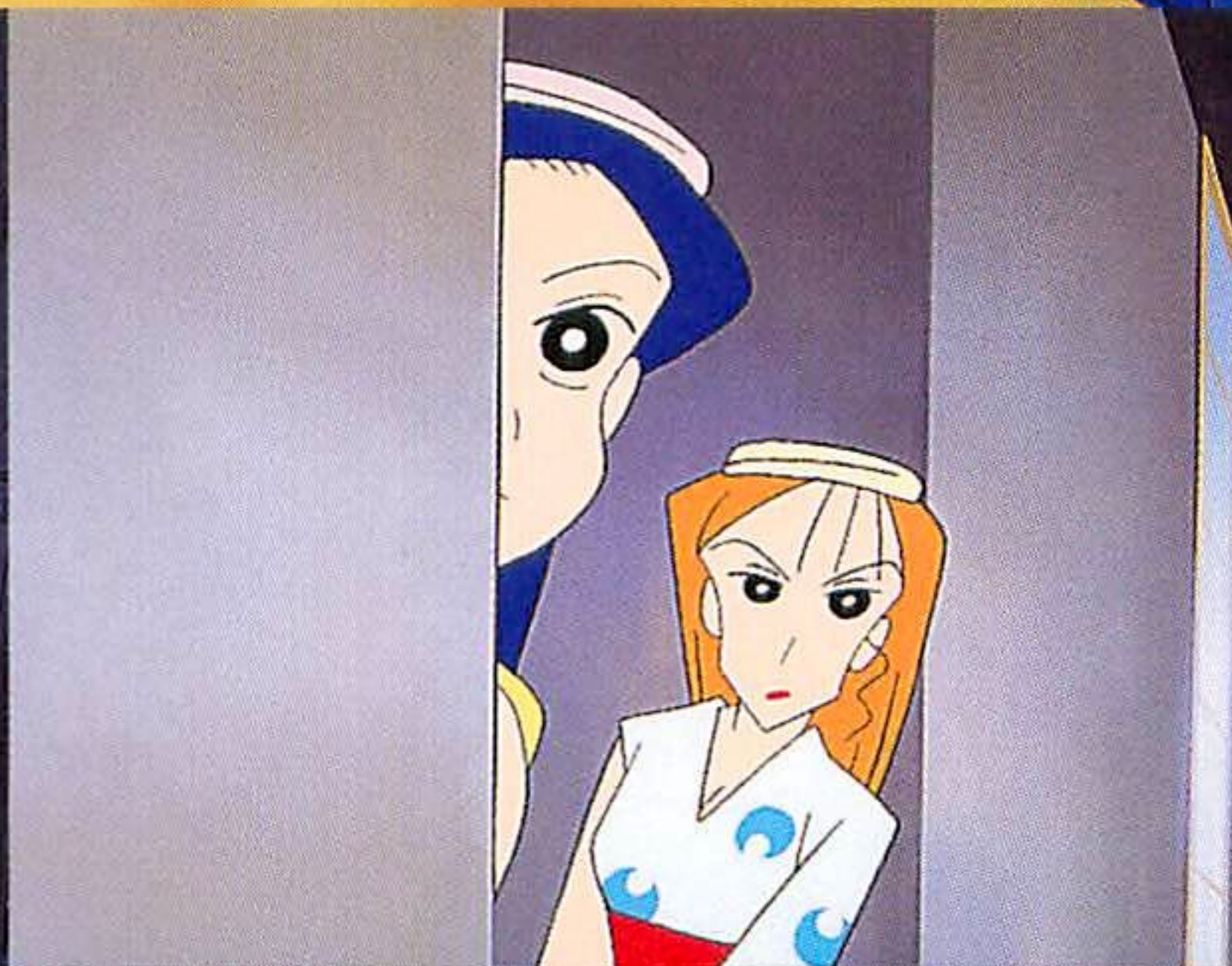
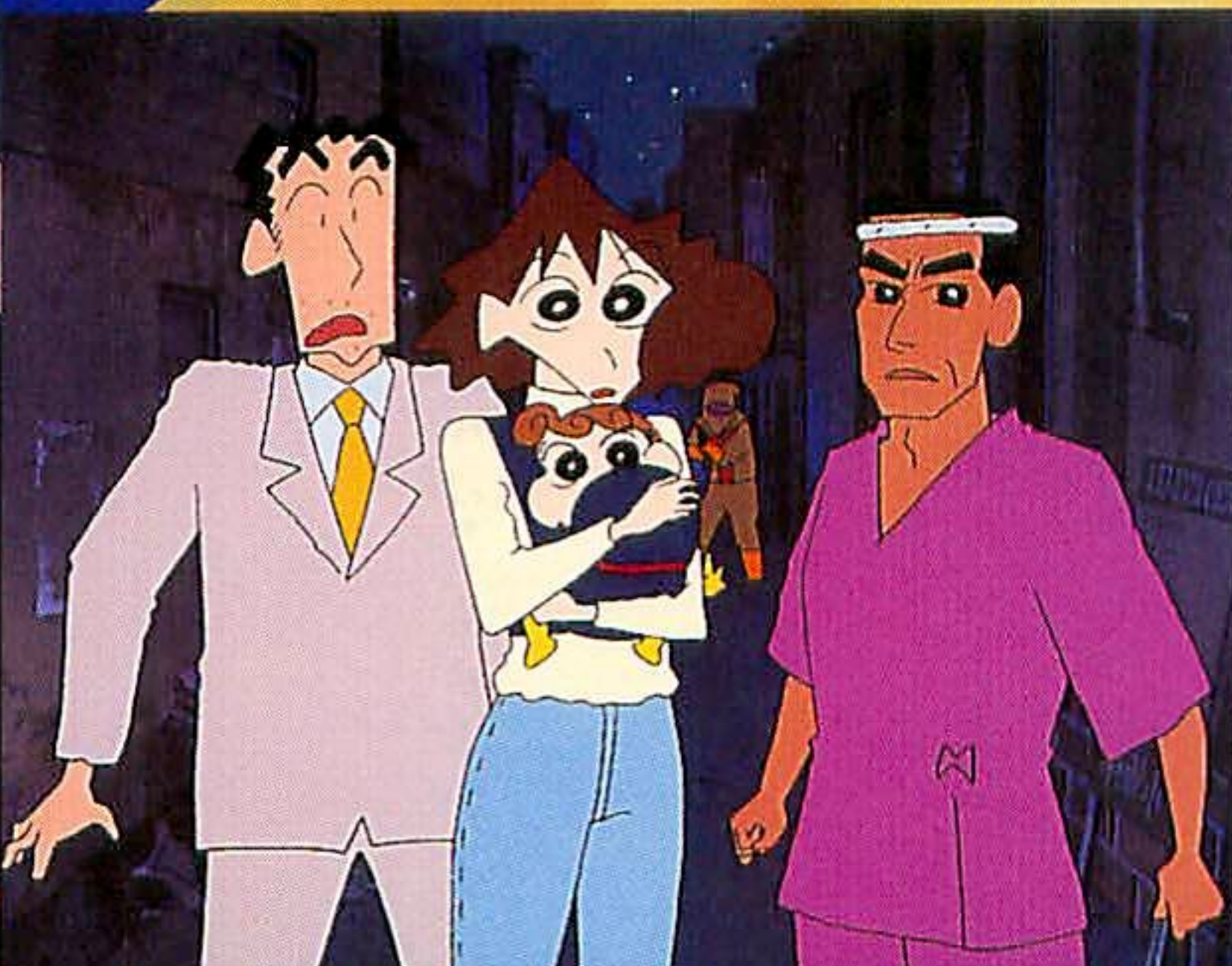
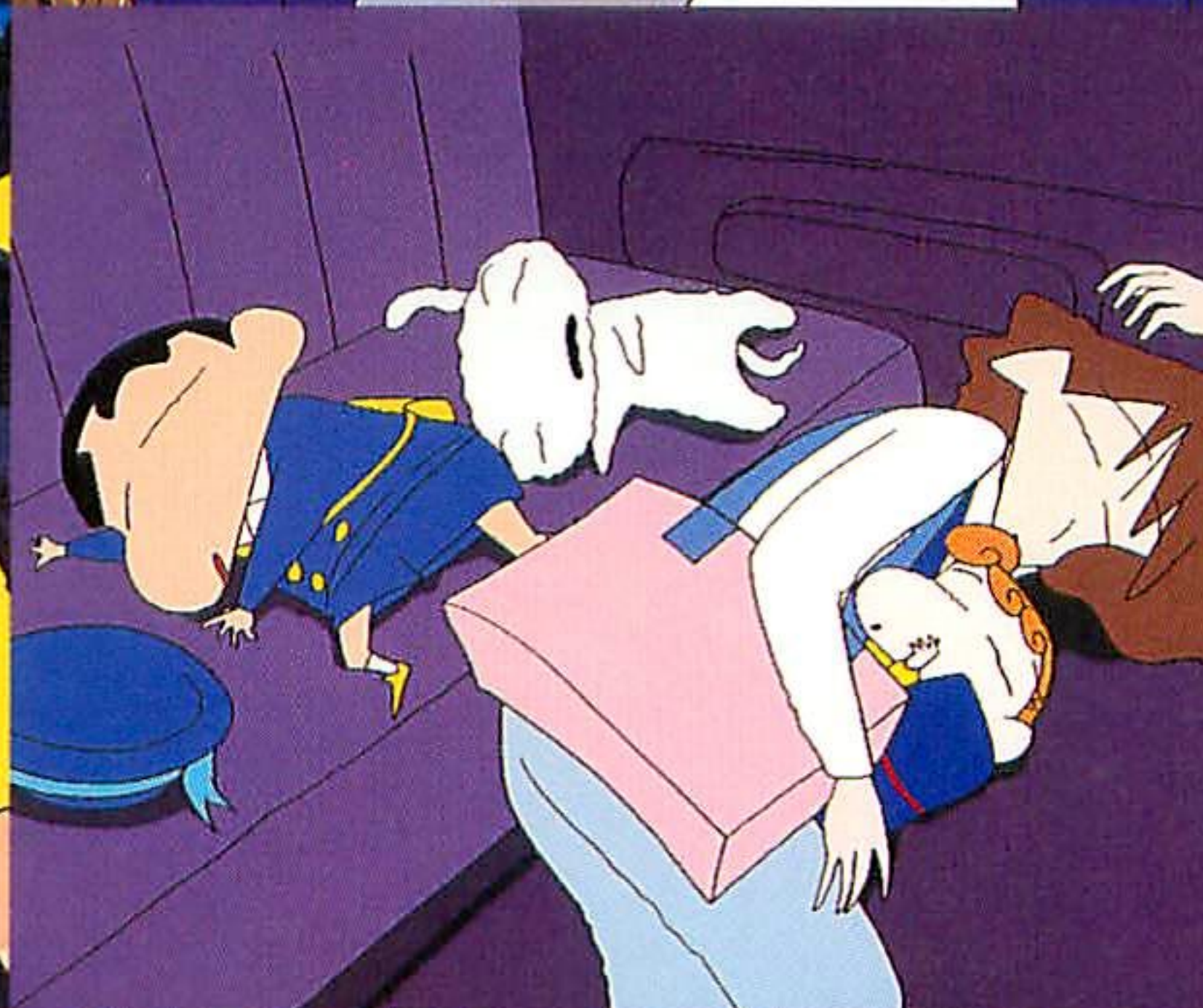
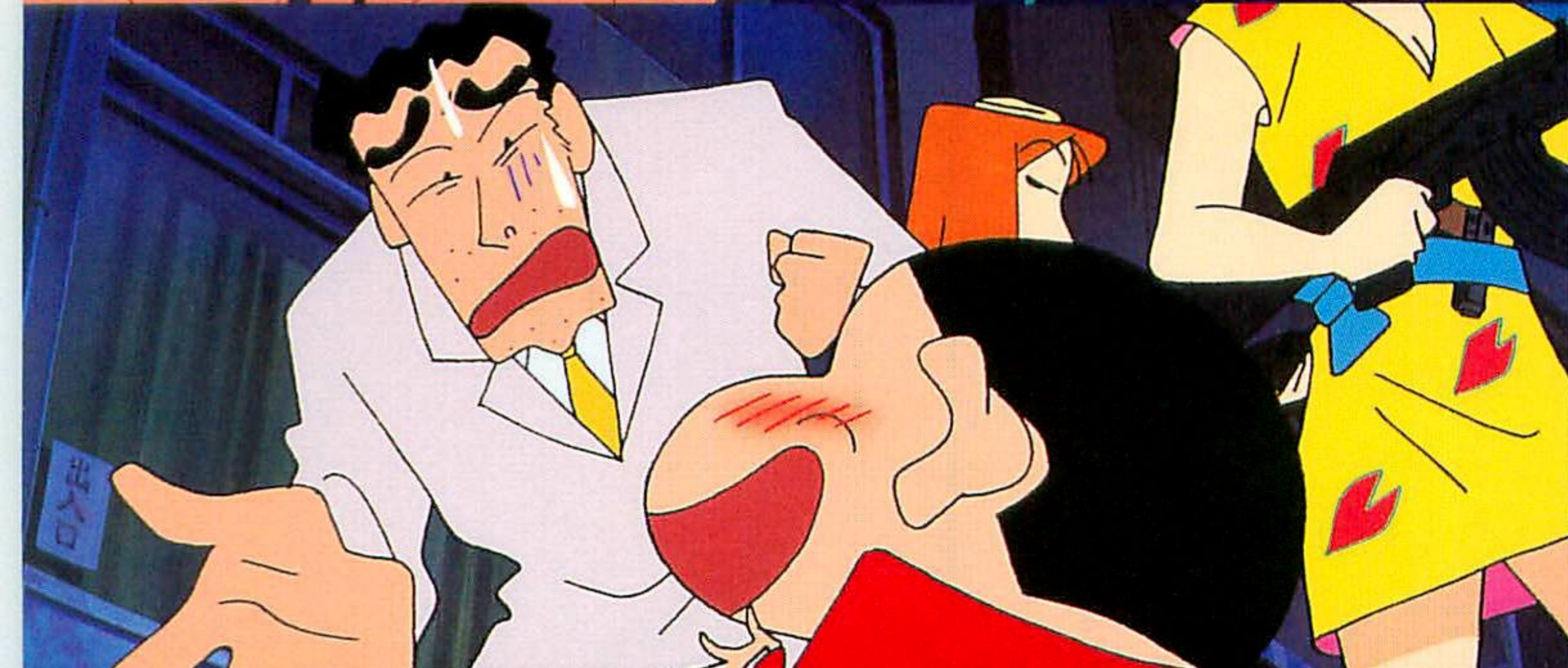
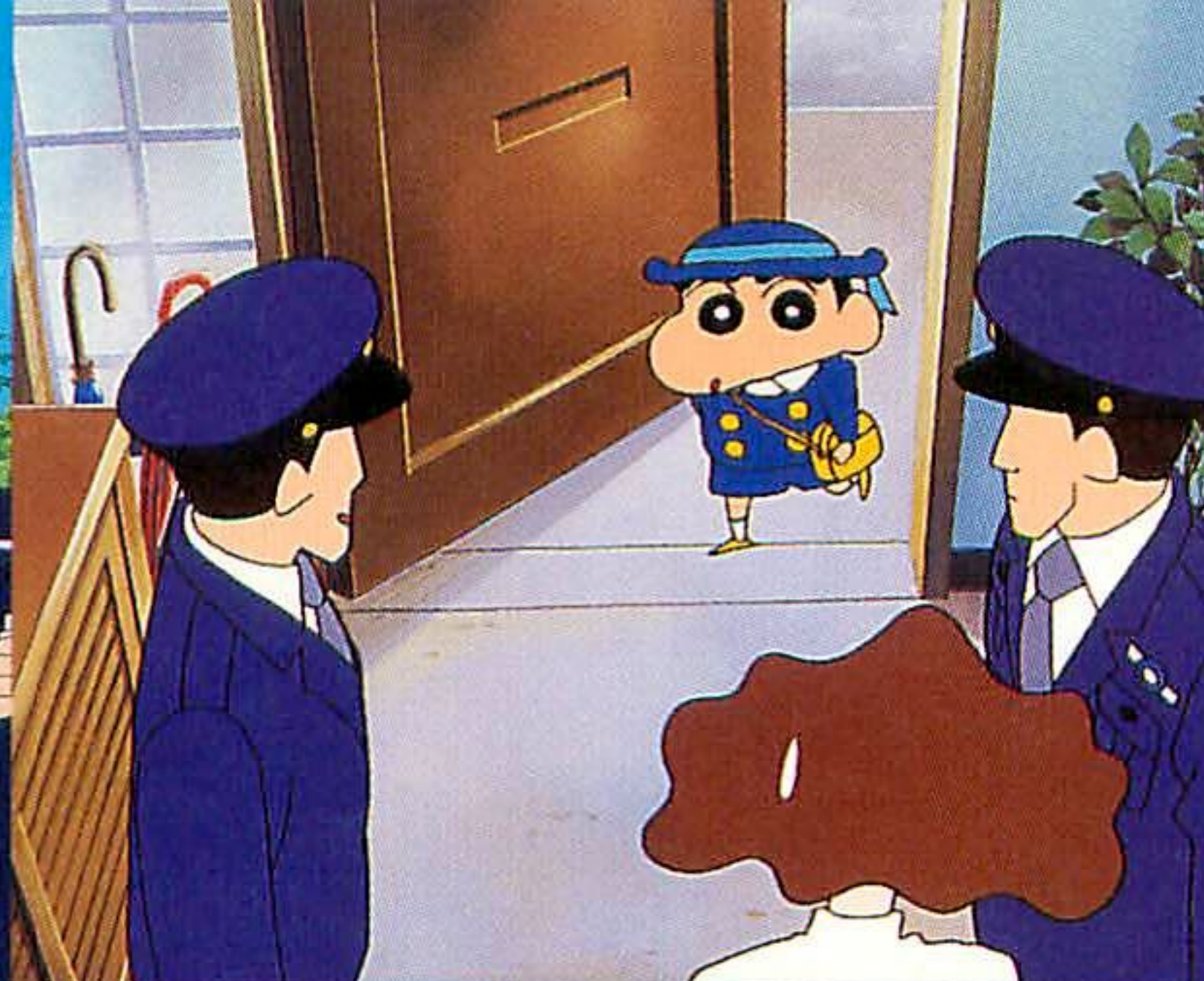
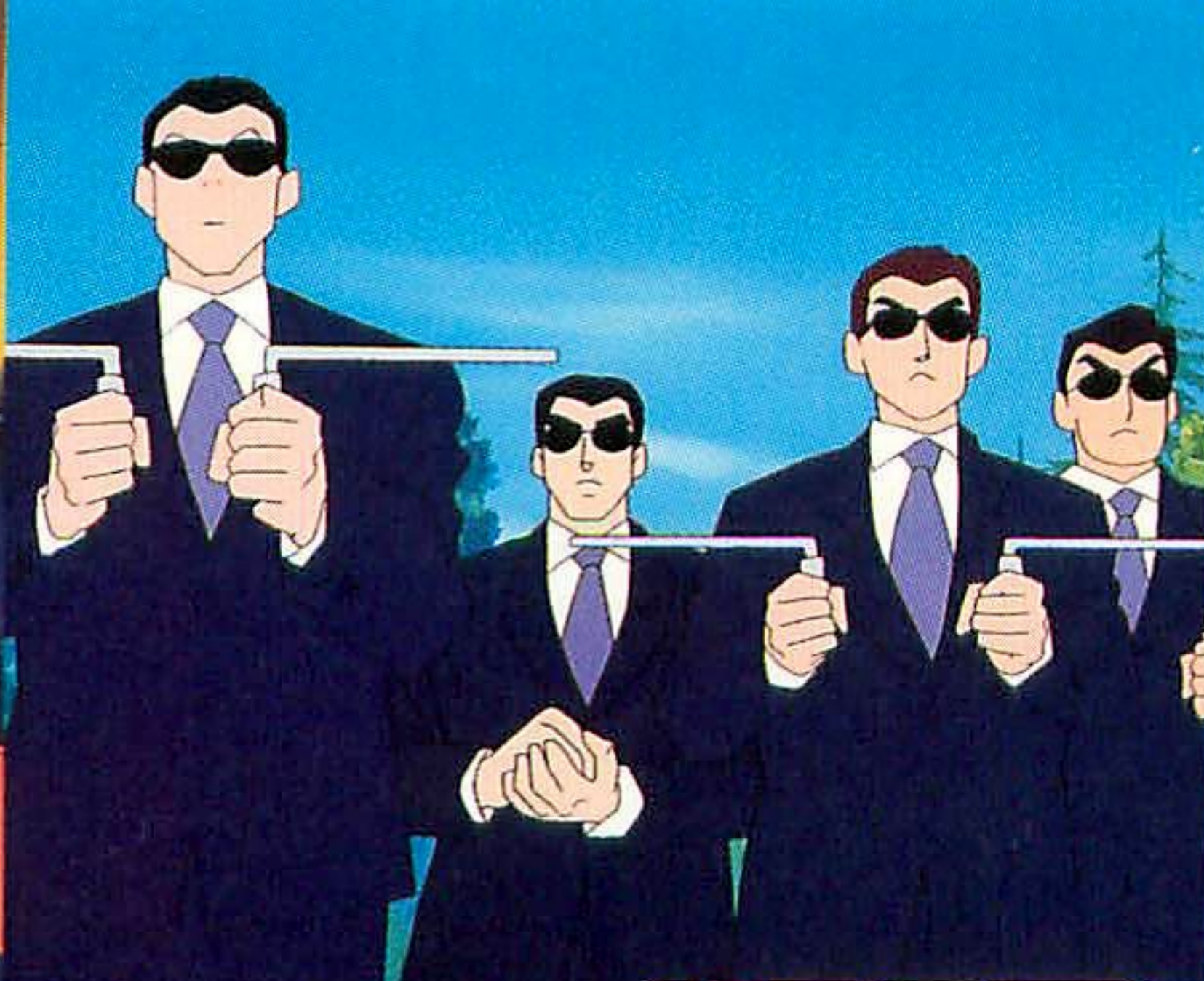
劇場用オリジナルストーリー
映画クレヨンしんちゃん
爆発!温泉わくわく大決戦
嵐を呼ぶ二本立!
クレしんパラダイス!メイド・イン・埼玉
同時上映
東宝
阪急東宝グループ

映画
クレヨンしんちゃん
爆発!
温泉わくわく大決戦
原作：臼井儀人
（双葉社「WEEKLY漫画アクション」連載中／テレビ放映中）
「クレヨンしんちゃん　爆発！温泉わくわく大決戦」（上映時間98分）
監督・脚本：原　恵一
同時上映
クレしんパラダイス！
メイド・イン・埼玉
監督：水島　努
「クレしんパラダイス！　メイド・イン・埼玉」（上映時間11分）
制作：シンエイ動画／テレビ朝日／ASATSU-DK　配給：東宝
©臼井儀人／双葉社・シンエイ・テレビ朝日　1999

脱いだら無敵。
ほほ〜い。オラ、野原しんのすけ5歳。オラの映画がまたまた世間をお騒がせ。
今回はシリーズ初の2本立て！ 温泉をめぐるオラと怪獣の大決戦の長編が1つと、
大爆笑のコント集の2つだゾ。う〜む、ついにオラもここまできたか。

野原ひまわり
しんのすけの妹。0歳。
まだしゃべれない赤ちゃんだが、
兄に負けずともおとらぬパワフルな存在。
将来が楽しみ?である。
野原ひろし
しんのすけの父。35歳。双葉商事営業第二係長。
安月給ながら一軒家をローンで建て、
家族と夕食をともにすることをささやかな幸せにしている。
のんびりした性格だが、若い美女に目がなく、
その点で息子と気があう。
野原みさえ
しんのすけの母。29歳。埼玉県春日部市に住む専業主婦。
しんのすけの最大の被害者。
ケチでみえっぱりな性格だが基本はお気楽モード。
野原しんのすけ
愛称しんちゃん。5歳。ふたば幼稚園ひまわり組。
独創的なしんちゃん言葉をあやつり、人々をおちょくり、
きわめてマイペース人生をおくる。
美人のお姉さんが大好き。
シロ
野原家の飼い犬。
オス。
道端に捨てられていたのを
しんのすけに拾われた。
モグラロボット
「YUZAME」が地球温泉化計画の
ために開発した巨大ロボット。
さまざまな武器が隠されている。

後生掛(ごしょがけ)
草津隊長の部下。セクシーでドジ。好物は寿司。
銃や爆発物の扱いにたけた優秀なコマンドでもある。
指宿(いぶすき)
草津隊長の部下。チャーミングでしっかりもの。
寿司よりもパスタを好む。
後生掛と同じく優秀なコマンド姉ちゃん。
草津隊長(くさつたいちょう)
世界の温泉を守る温泉Gメンの隊長。
指先で湯にふれただけでどこの温泉か
当ててしまう特技?をもつ。
温泉を心から愛し、入浴のルール、
マナーにきびしい
哲学?をかけている。
キラーフィンガー・ジョー
アカマミレの部下。指圧が得意技で、
その快感にはだれもがうっとりとしてしまい、
つい、隠し事を白状してしまう。
フロイラン・カオル
アカマミレの愛人。
入浴をしていないのを隠すために
すごい厚化粧をしている不潔で冷酷な美女。
ドクターアカマミレ
全世界の温泉の消滅をはかる
悪の組織「YUZAME」の首領。
風呂を激しく憎み、入浴はおろかシャワーさえ浴びない。
その理由は過去にあるらしいがヒミツ。焼肉が大好物。
温泉の精(おんせんのせい)
丹波と名乗る。金の魂の湯に宿る伝説の存在。
正しい入浴者の願いを叶える。

ものがたり
●ひなびた温泉の露天風呂。
職員旅行にきたふたば幼稚園の先生たちがのんびりとつかっていた。
そんな平和なひとときを恐怖がおそう。
お湯がはげしくなみだち、先生たちはそれにのみこまれそうになった。
とつぜん、大きな音をたてて、地面をつきやぶり巨大な何かが姿を現した。
驚く先生たち。暗やみでよく見えないが、怪獣のような影が目を光らせてこっちを見ている。
先生たちはすっぱだかのまんま逃げ出した。
●そのニュースが朝ごはんを食べている野原一家のテレビに流れる。
先生たちは取り調べを受けるために帰ってこれず、
幼稚園はお休みになってしまった。
喜ぶしんのすけ。
ひろしは会社へ、みさえはひまわりを連れて買い物へ。
ひとり家に残されたしんのすけものんきに散歩へ出掛ける。
そこへ地面につっぷしている男を見付けたので、助けてやる。
男は「丹波」と名乗り、風呂へ入りたがっていた。
変なおじさんに興味をもったしんのすけは家に招いてやり、いっしょに風呂にはいり、
いろいろな遊びをして楽しいひとときを過ごした。
丹波は礼を言うといつのまにか姿を消していた。不思議に思うしんのすけ。
●野原家を警官が訪れた。不発弾が埋まっているので避難するようにと、
しんのすけたちはパトカーに乗せられる。やがて、いつのまにか眠ってしまった。
気がつくと、そこは知らない場所。「温泉Gメン」の基地であった。
全国の温泉をひそかに管理、維持している政府機関。
隊員の後生掛と指宿、二人の美女の案内により、隊長の草津と対面することになった。
YUZAME
そして、驚くべき事実を聞かされる。
風呂を嫌う悪のテロ組織「YUZAME」が世にはびこり、
全国の温泉を消滅させようとするプロジェクトがあることを。
その陰謀を阻止するためには、「金の魂の湯」という伝説の温泉にある不思議なパワーが必要であった。
なんと、その温泉こそ、野原家の地下に存在するというのだ。
草津は野原一家に協力を求めた。
温泉を掘るとマイホームはどうなる？
ひろしを始め、一家は悩むのだった。
●温泉Gメンの秘密基地がYUZAMEの軍隊の襲撃に見舞われた。
敵地に忍びこませておいたGメンのスパイが捕まり、拷問によって基地の場所を白状させられたのだ。
飛びかう銃弾の嵐。激戦が展開された。
草津の指令によって、後生掛と指宿は野原一家を避難させる。
秘密通路を伝わり、温泉Gメンと協力関係にある銭湯へ命からがら脱出に成功した。
映画 クレヨンしんちゃん
爆発! 温泉わくわく大決戦

休むまもなく、後生掛と指宿はYUZAMEの動きを探るために秩父へとおもむく。
その車の運転をひろしが引き受けることに。結局、野原一家が同行するはめになってしまった。
偵察の途中、妙にわざとらしい温泉を発見した。
急がなければならないのに、入浴の誘惑に耐えられず、つい、寄り道をする。
それはやはりYUZAMEの罠であった。またも銃撃戦。
しかし、野原一家と二人の勇敢な女性コマンドらは
とうとうに敵の基地に拉致されてしまった。
彼らの前に現われたのはいかにも怪しい面々。
首領のドクター・アカマミレ、愛人のフロイラン・カオル、
幹部のキラーフィンガー・ジョー。
彼らは、焼肉を見せびらかしながら、
埼玉県の野原家で何が行なわれているのか白状させようとする。

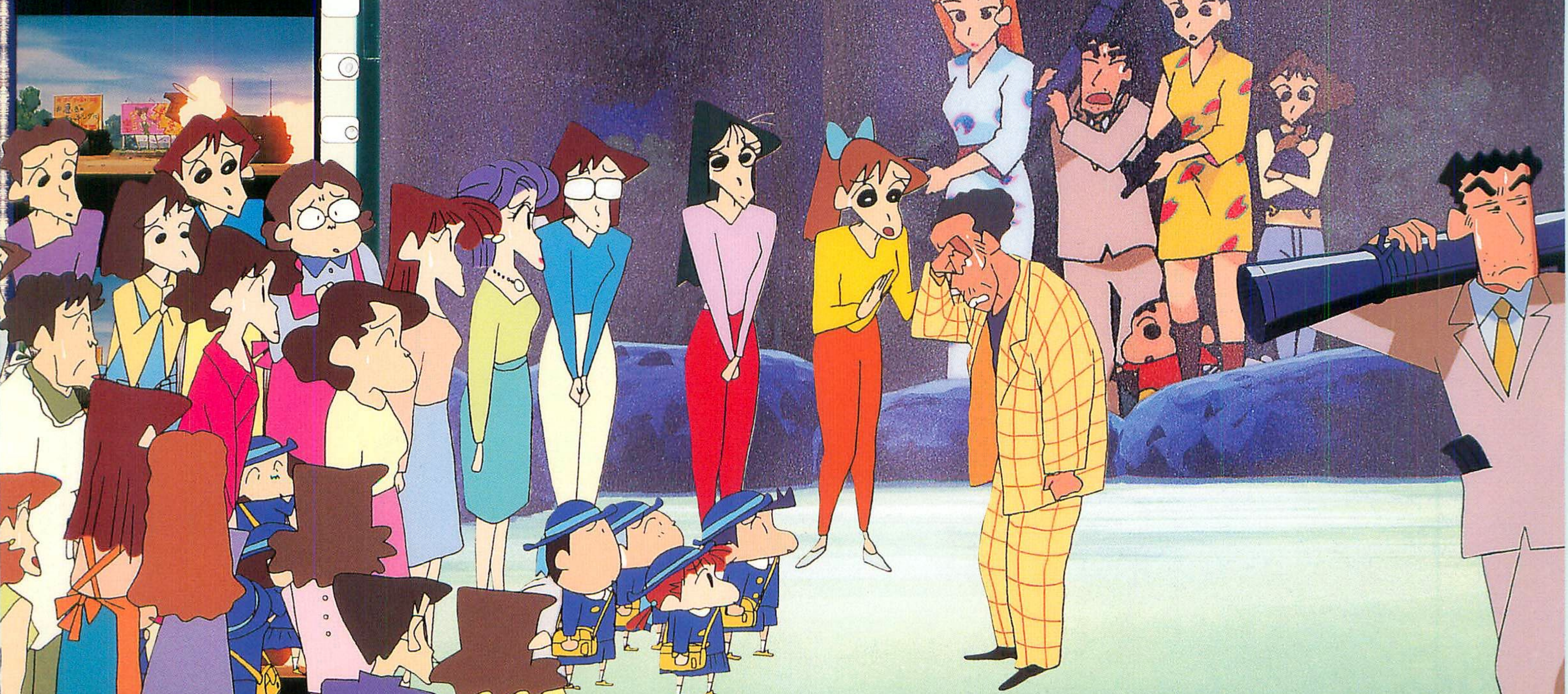
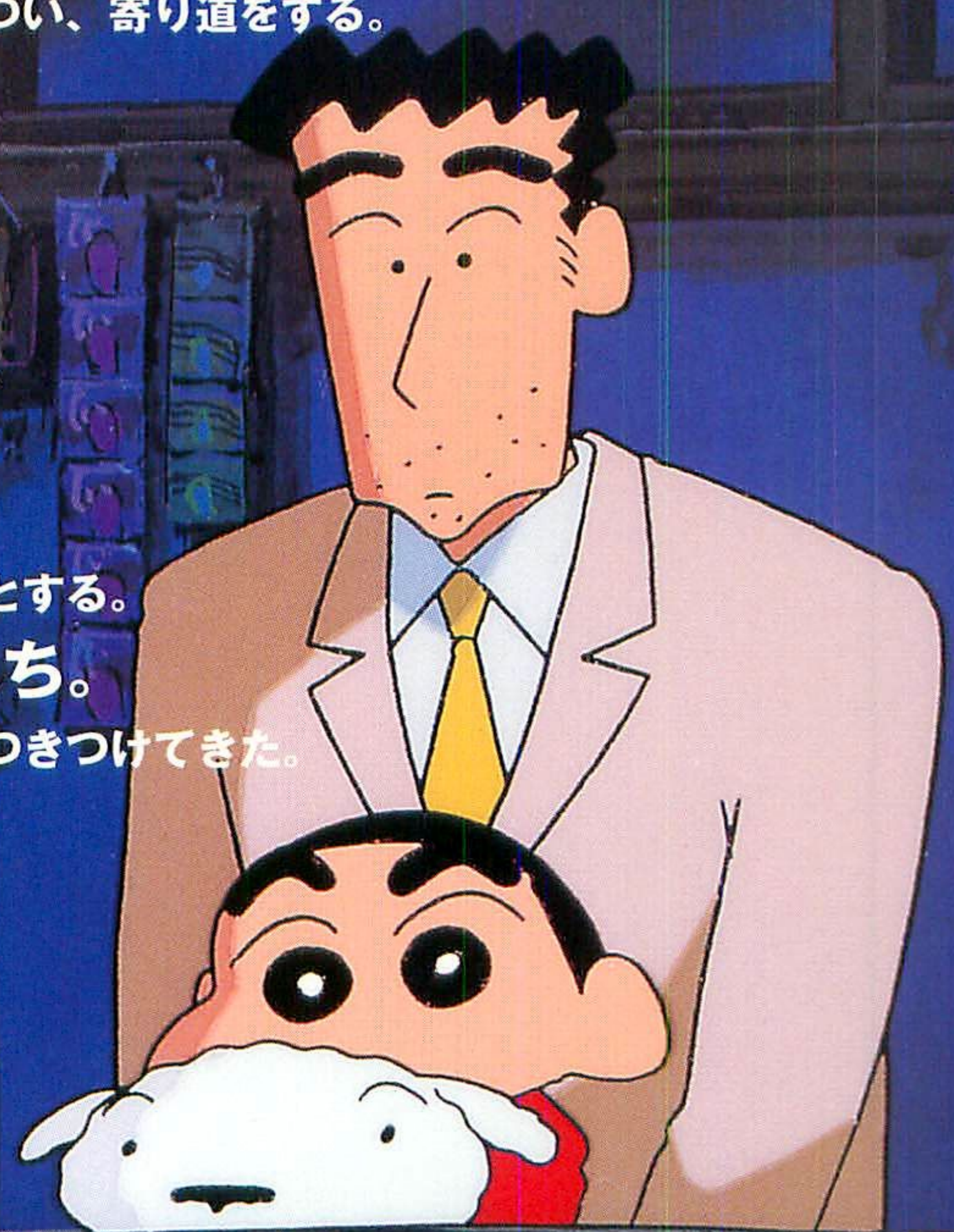
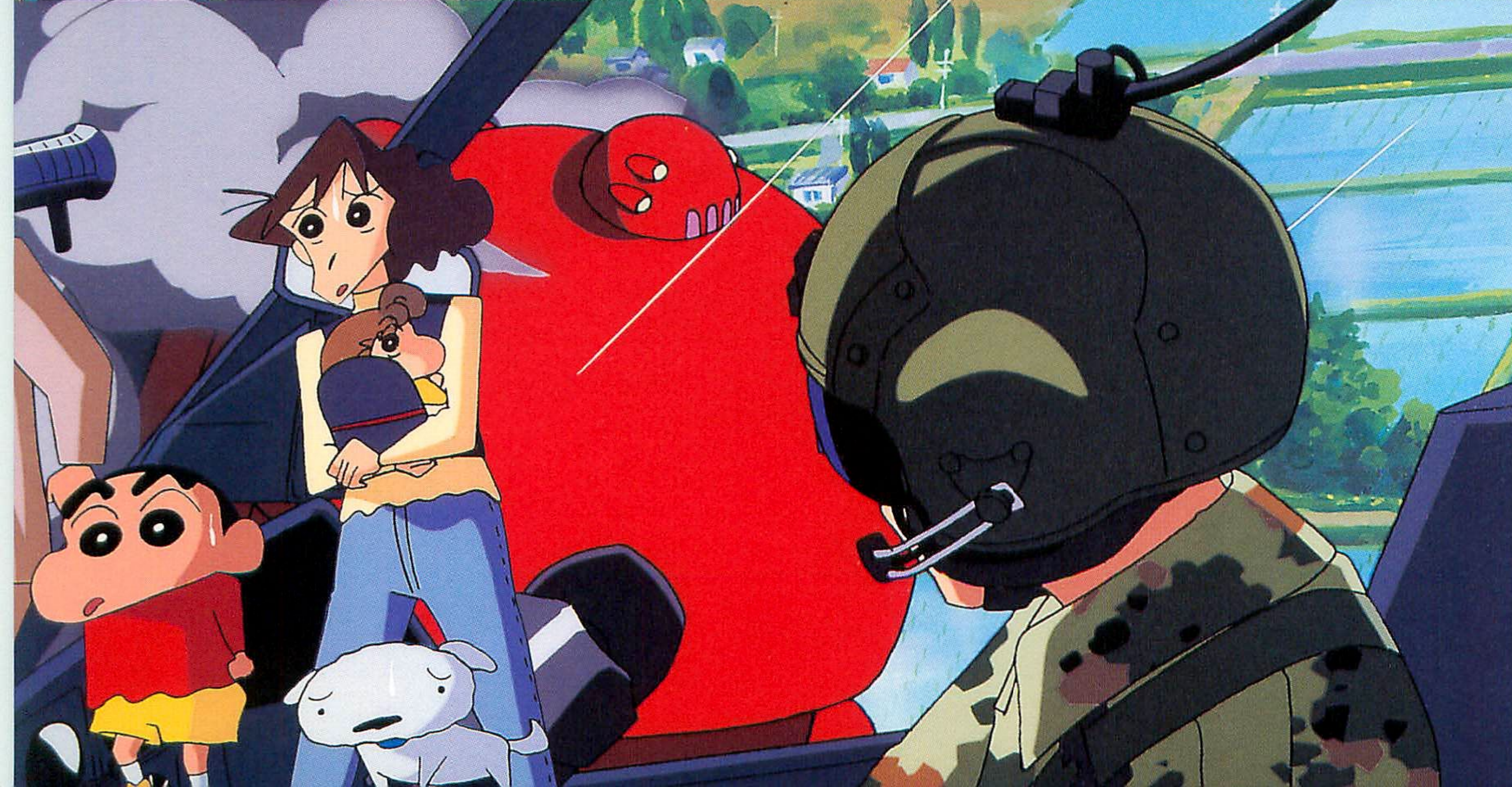
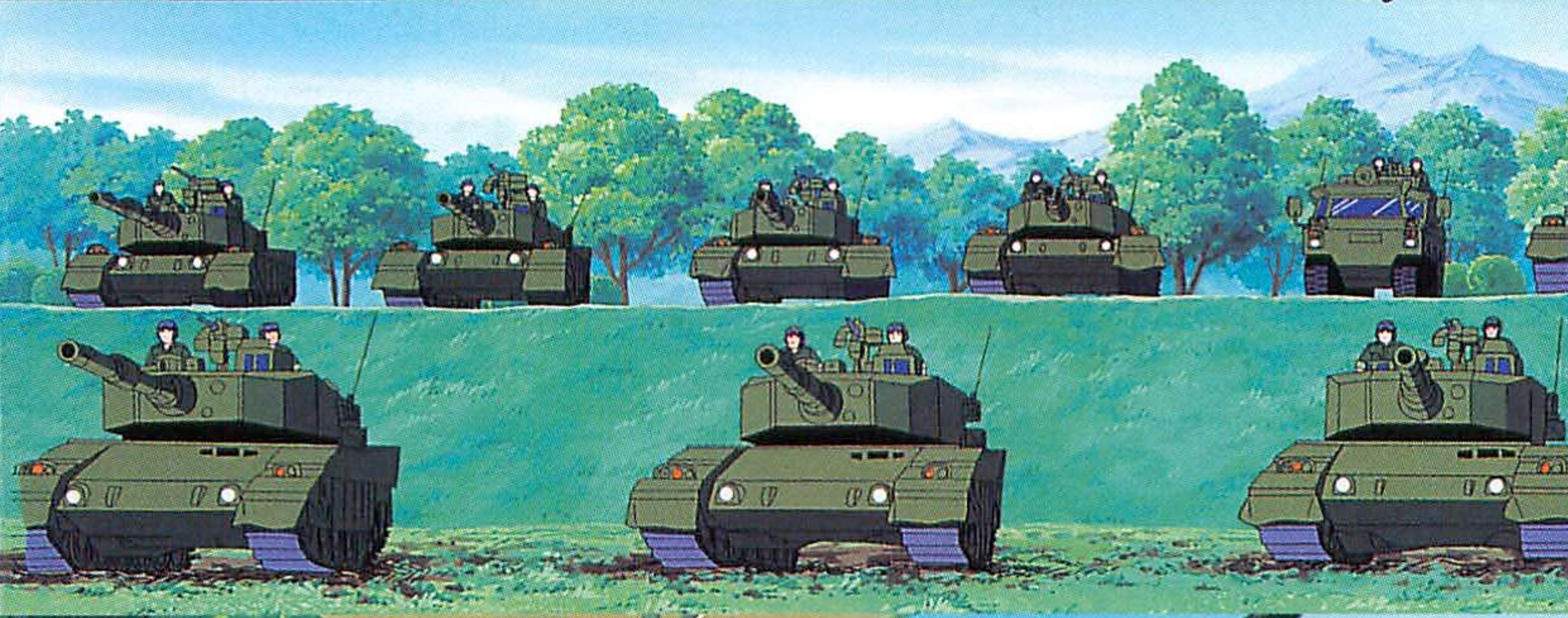
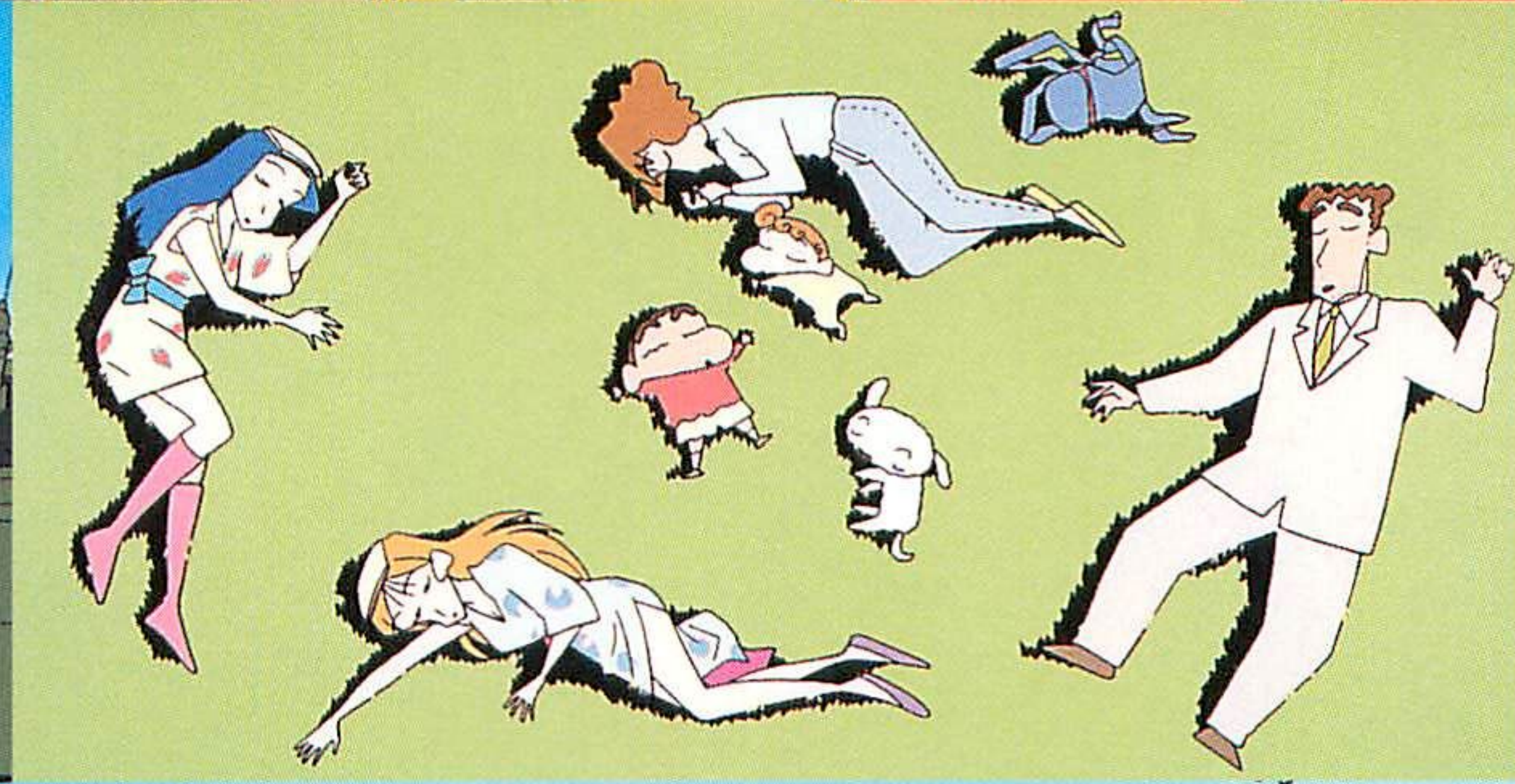
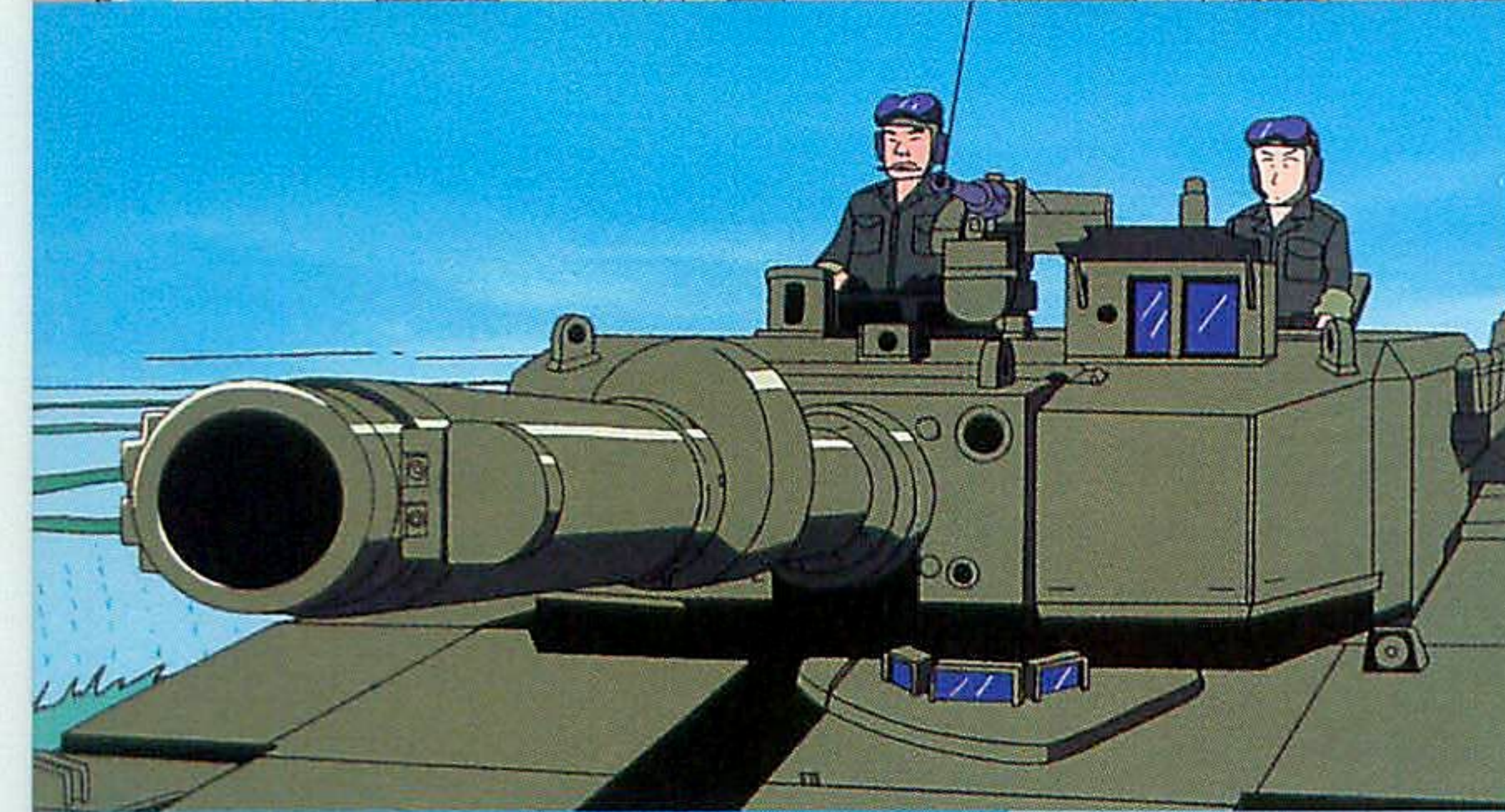
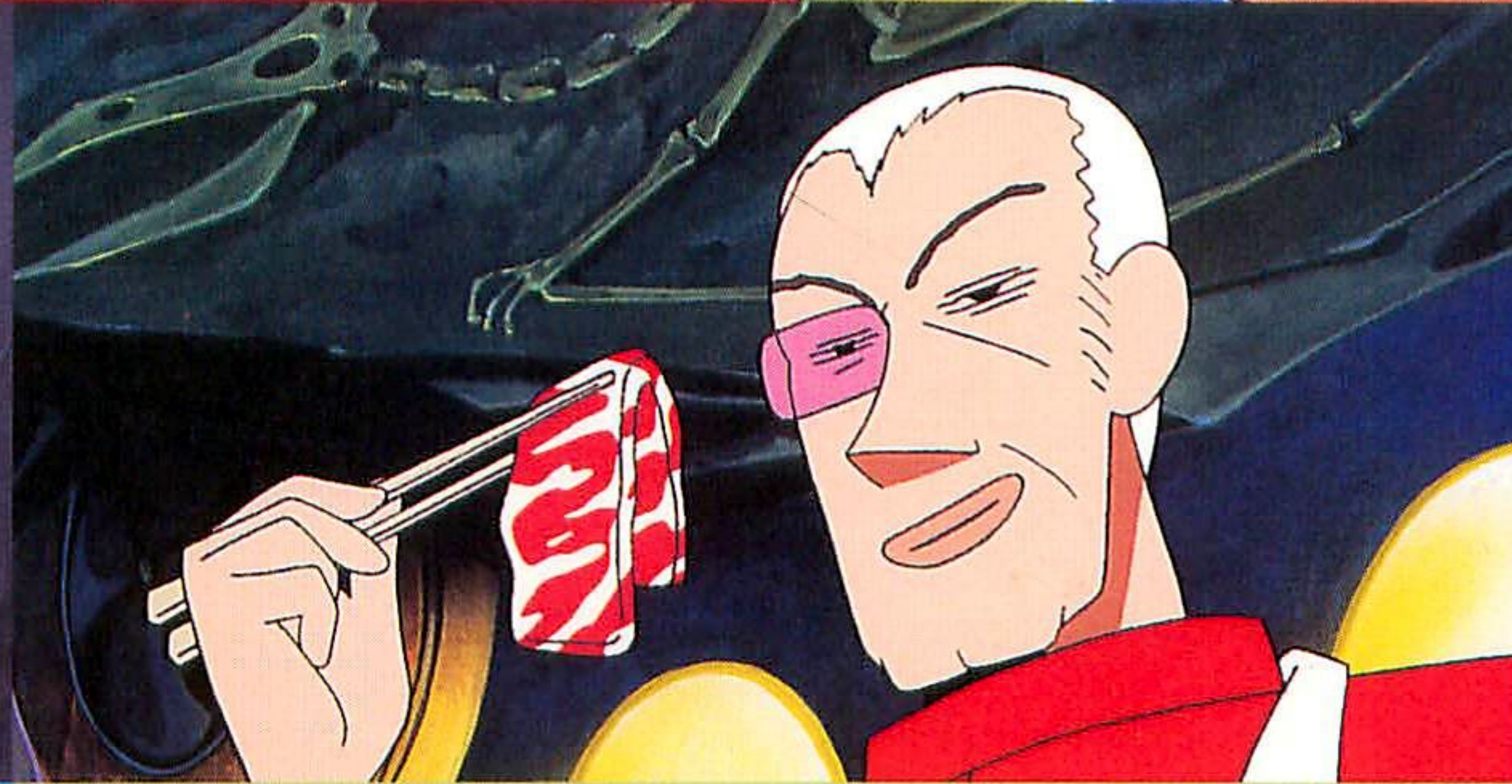
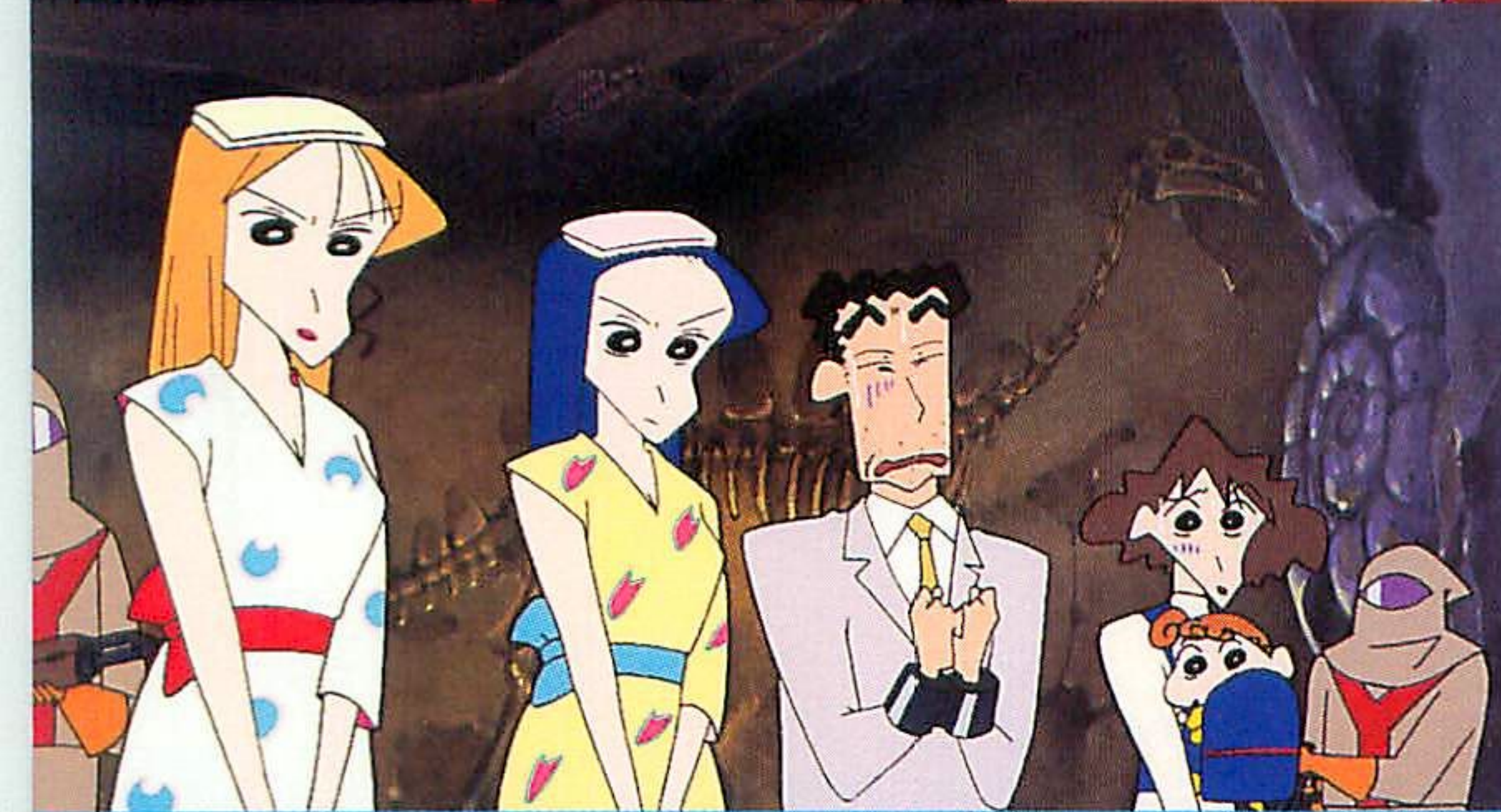
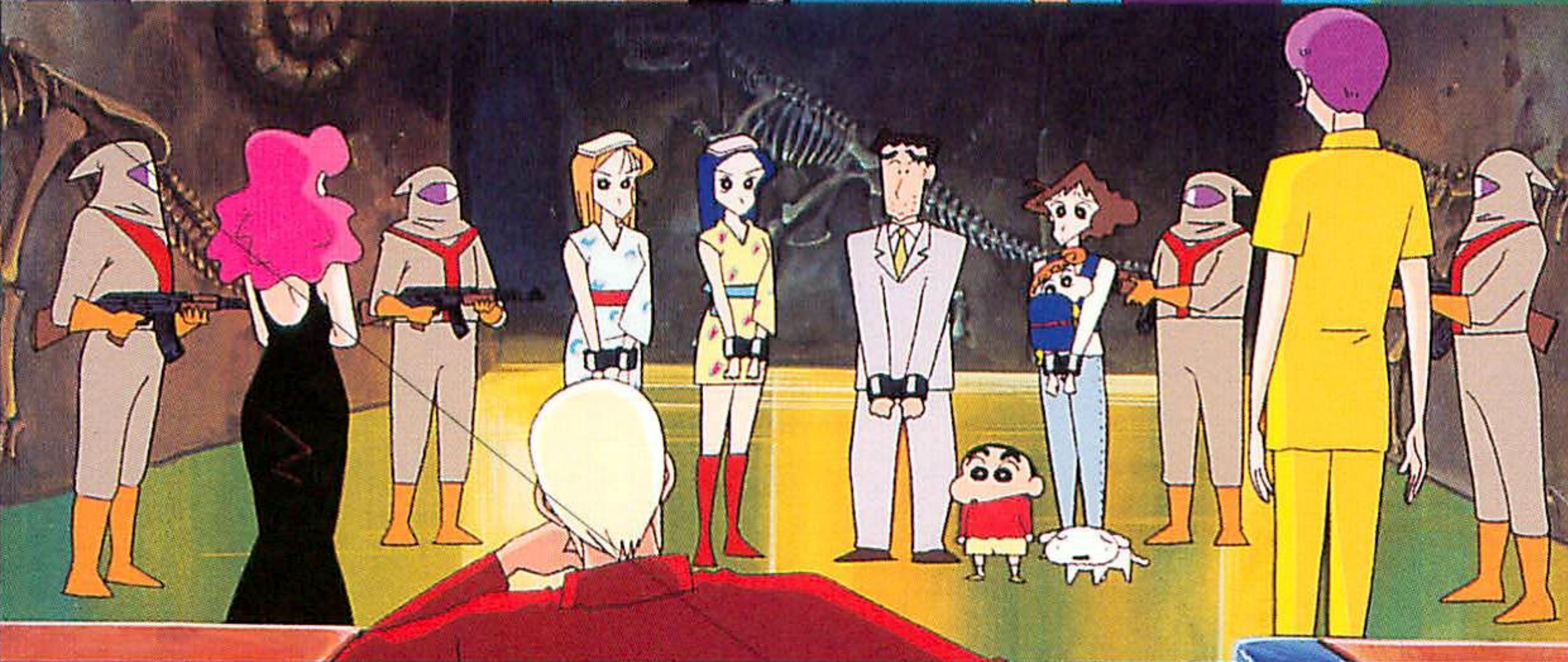
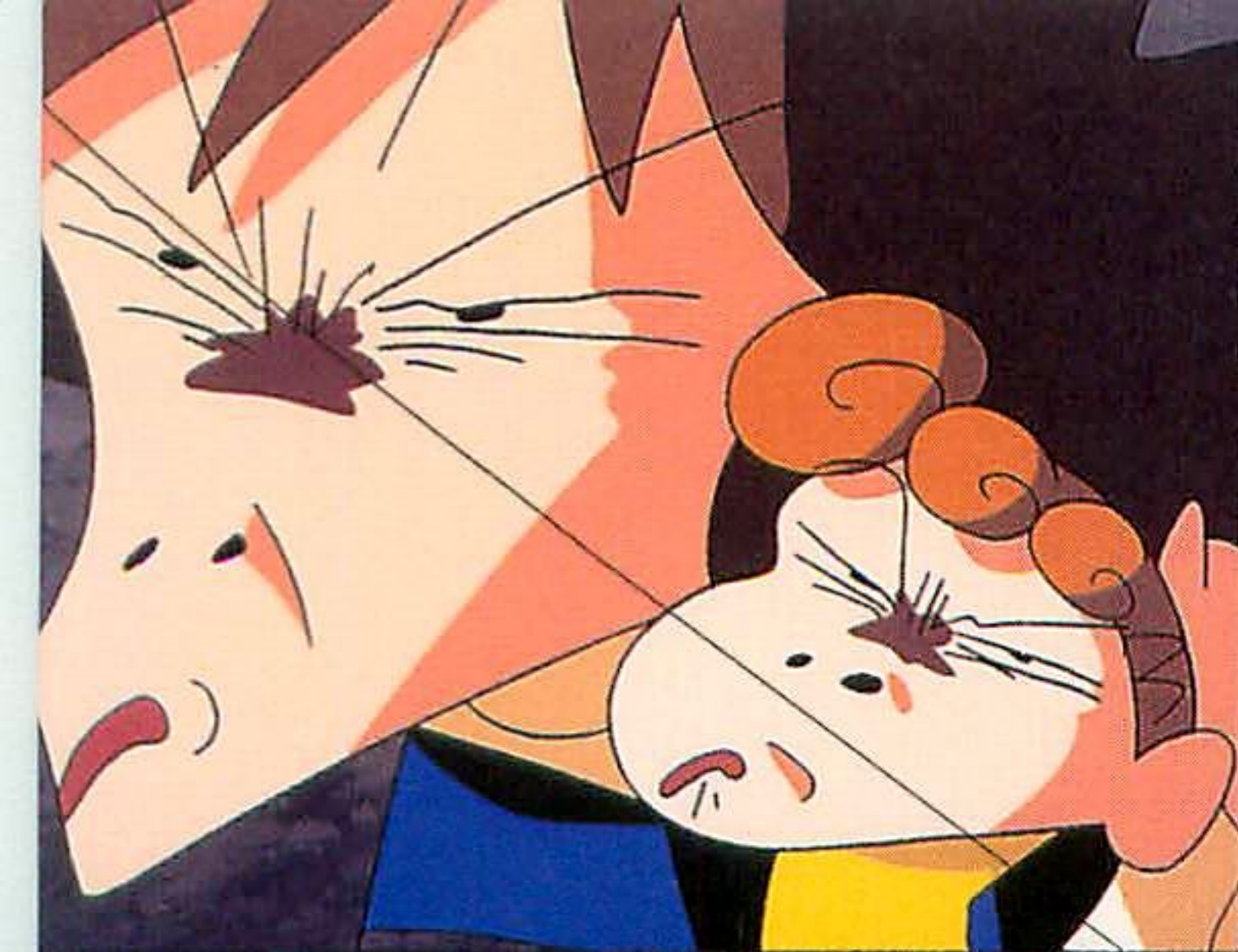
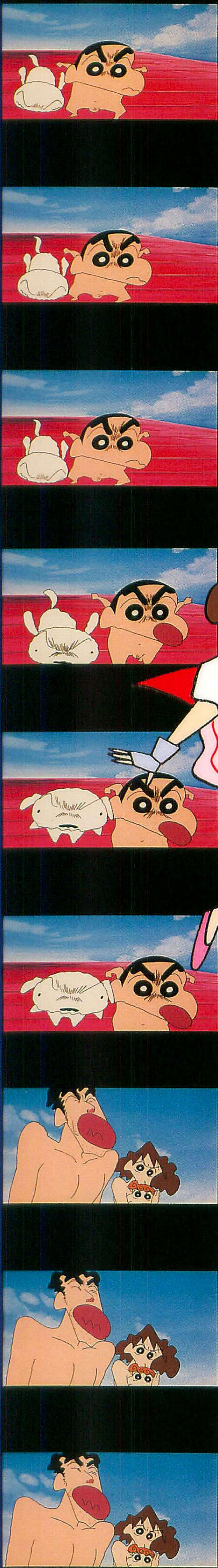
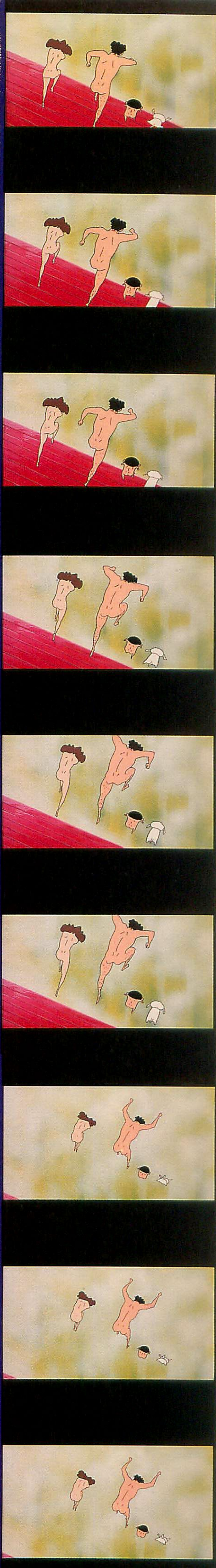
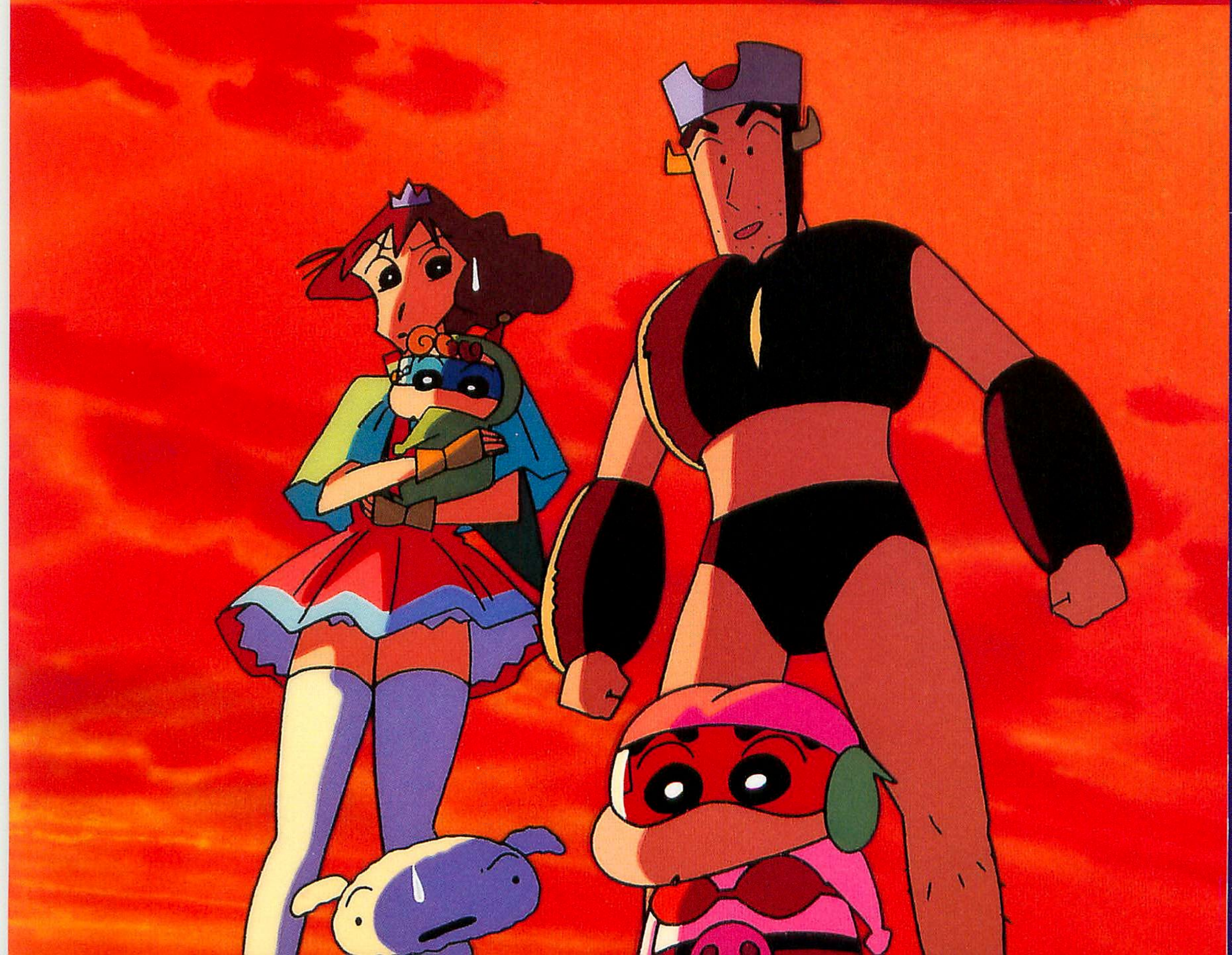
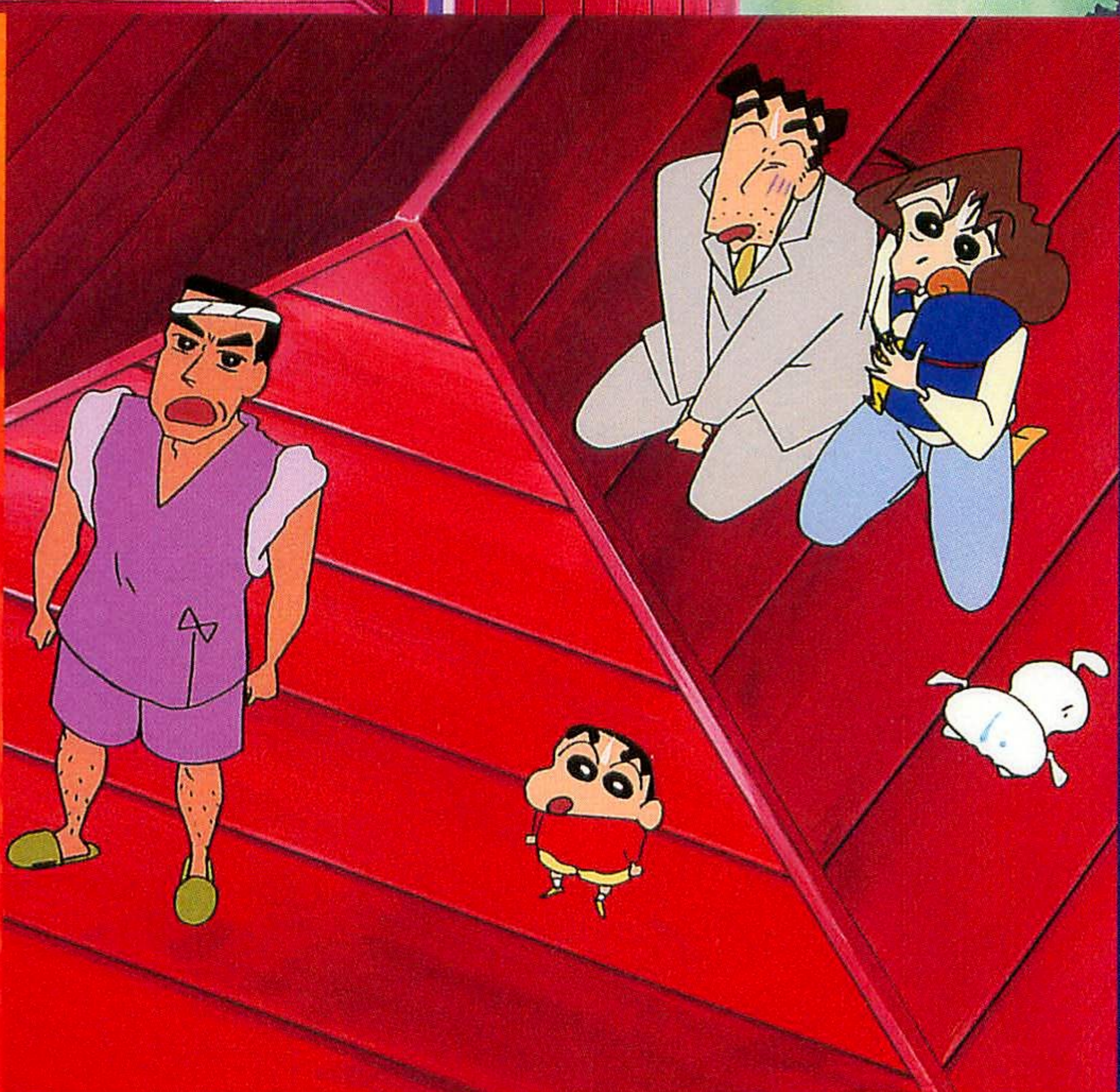
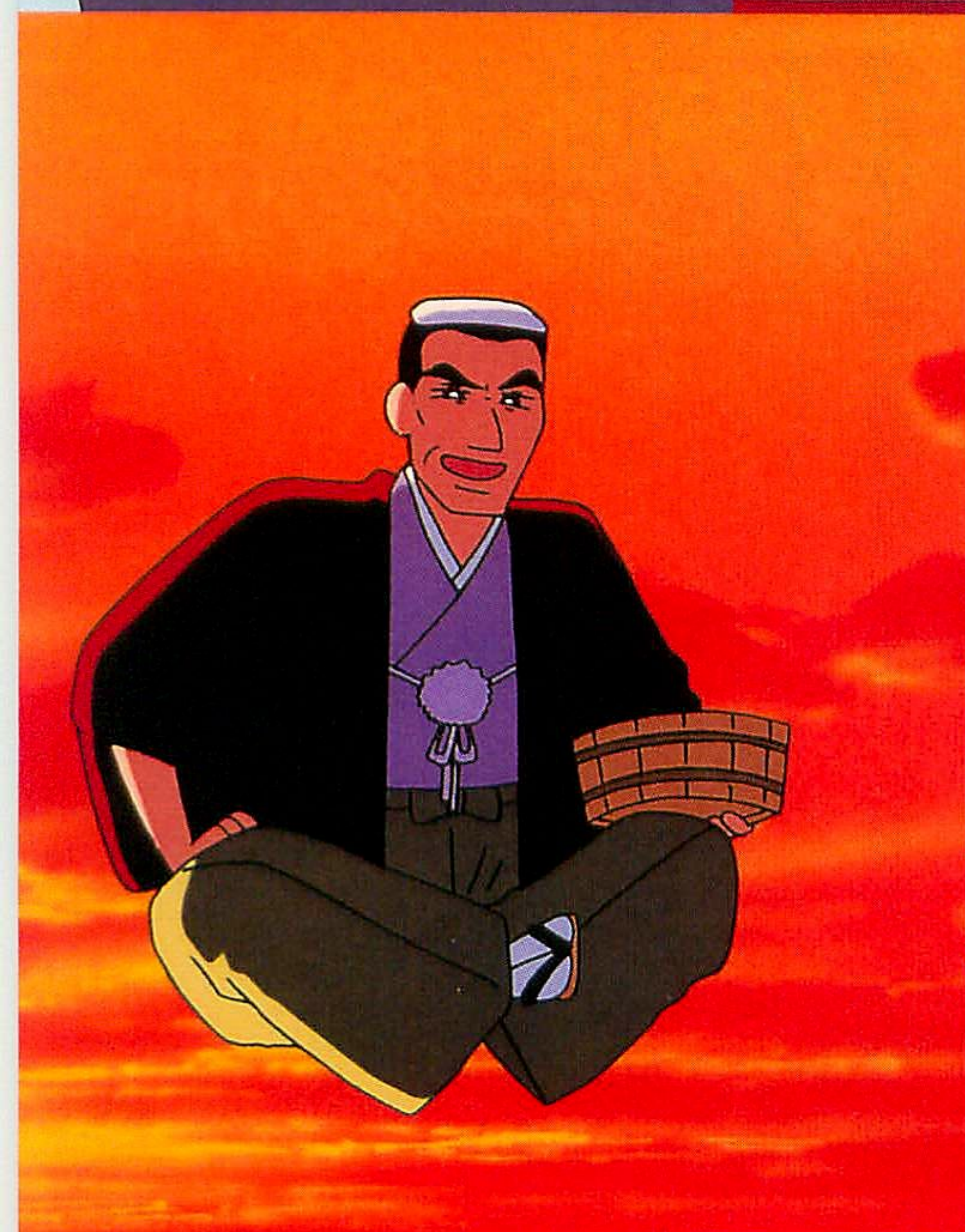
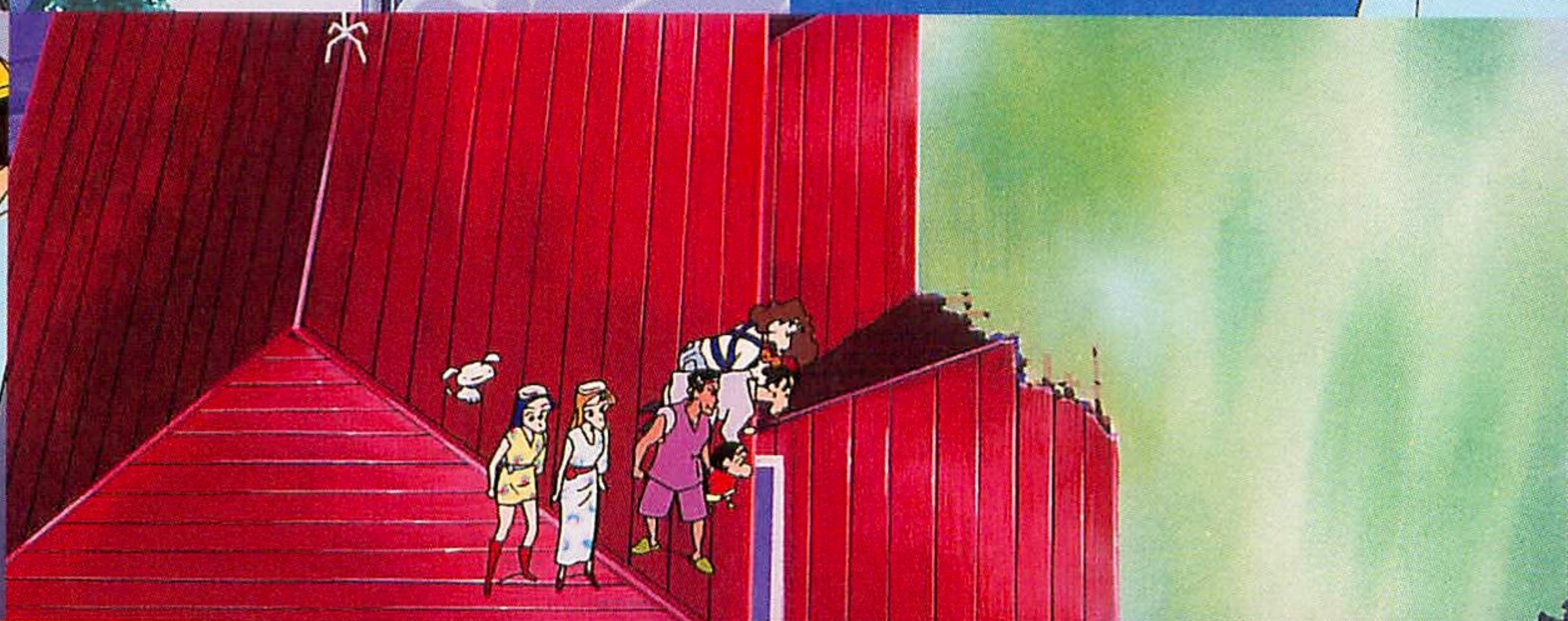
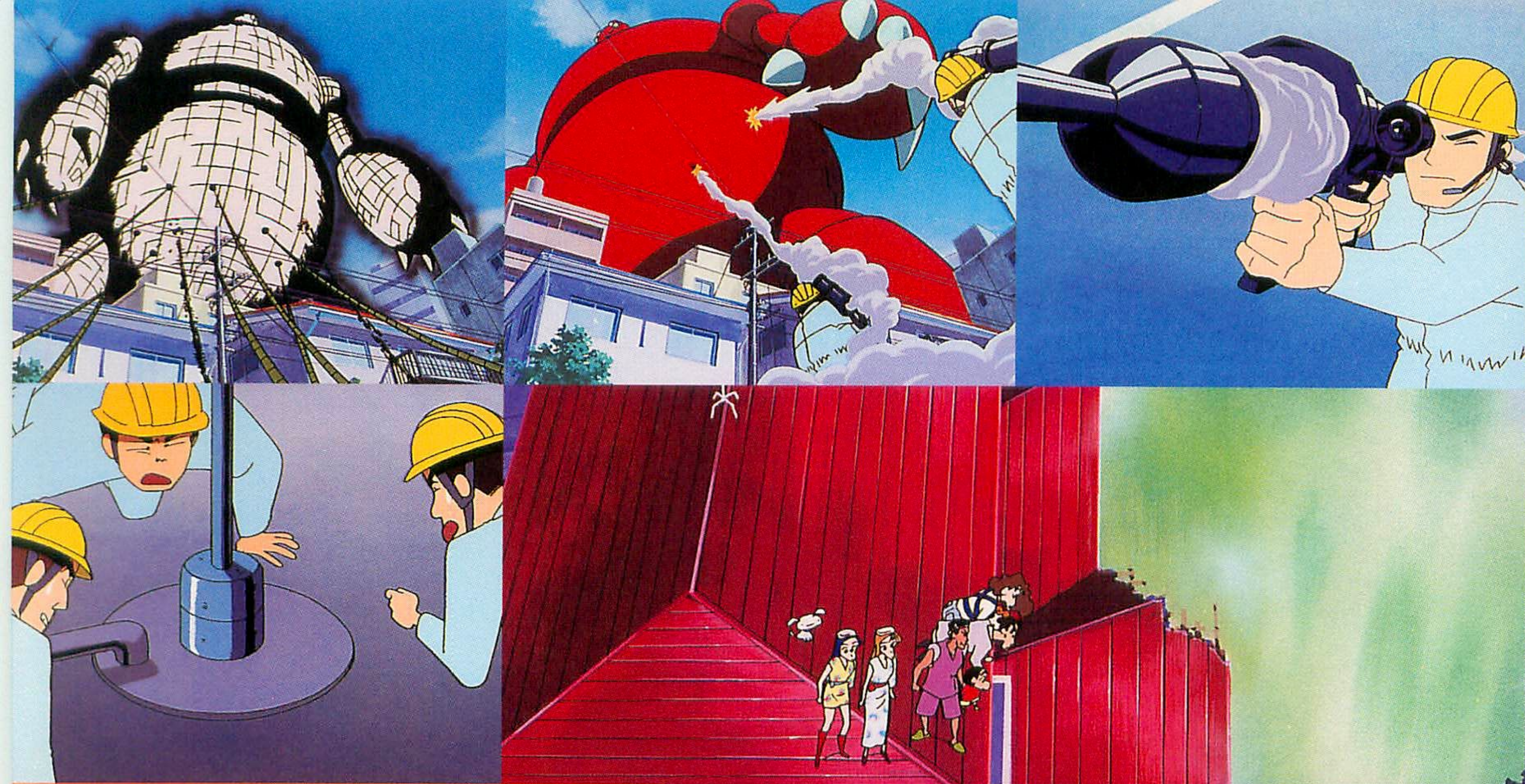
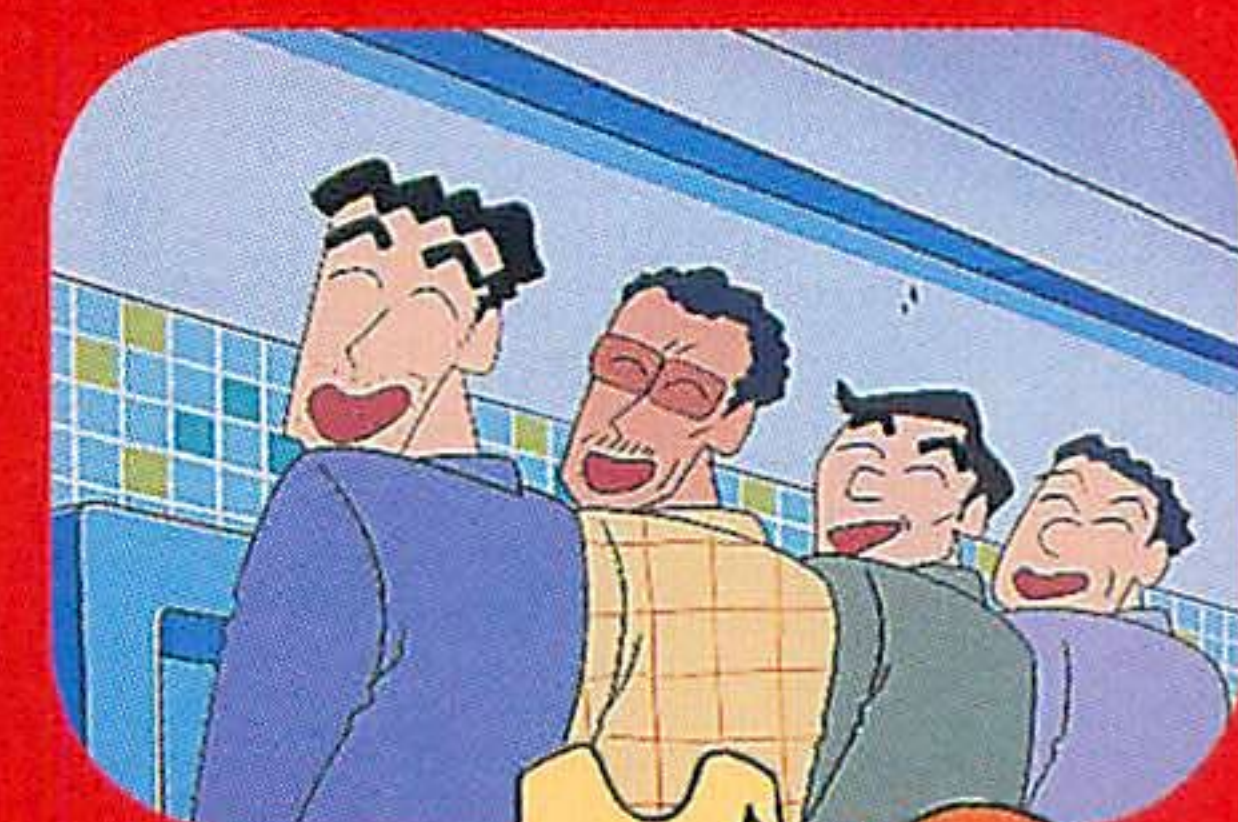
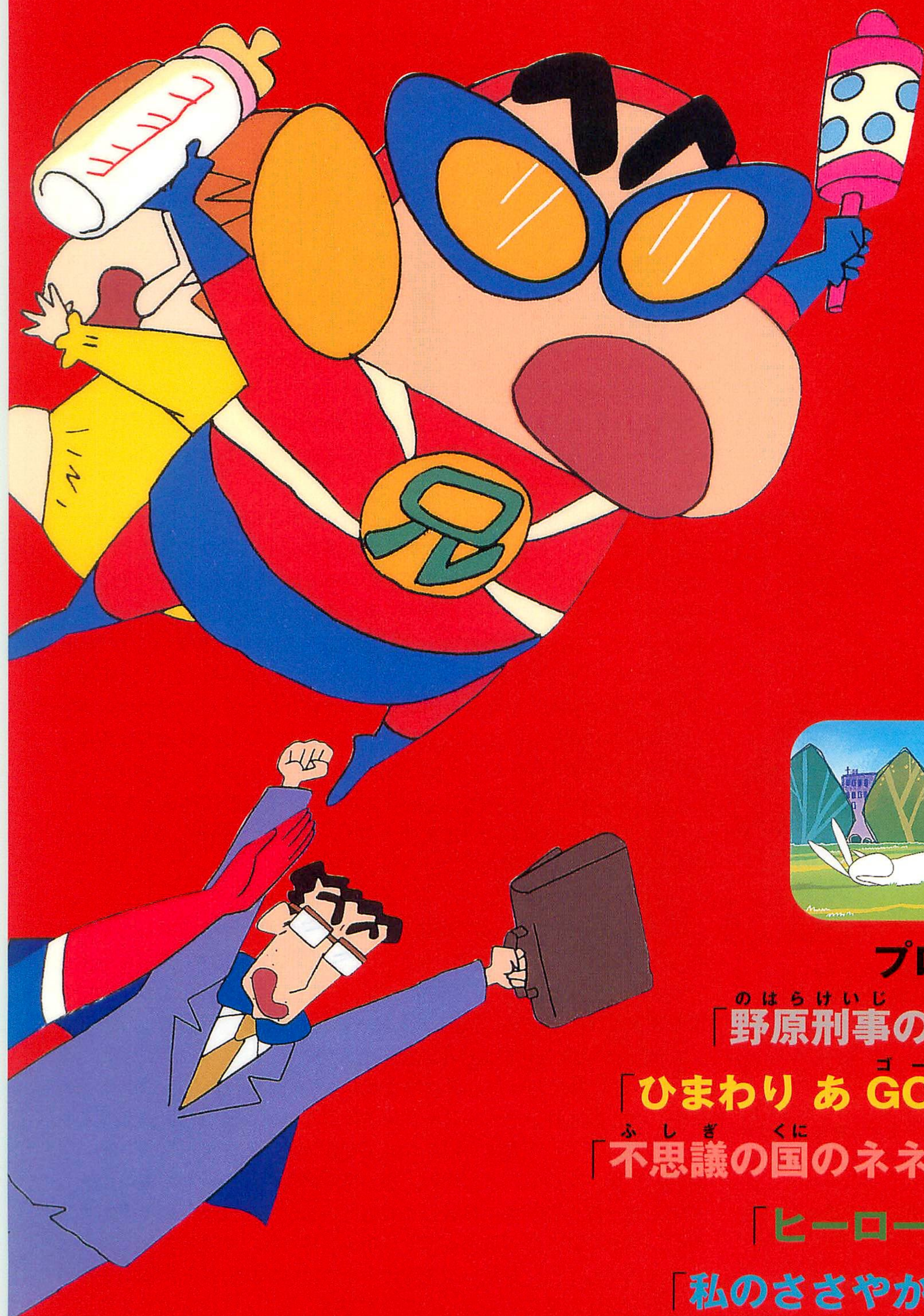
かたくなにシラを切る正義の戦士たち。

怒りに震えるアカマミレは、野原一家に苛酷な試練をつきつけてきた。

●戦慄と恐怖の「不健康ランド」!

悪の知恵を結集して建設された、
拷問のアトラクションの数々であった。
野原家の四人(赤ん坊のひまわりまでも!)と
一匹(犬のシロも!)は、体力を消耗させる
マシーンに乗せられて運動を強制される。
さぼればペナルティーが課せられる。
それも本人ではなく、別の家族に魔の罰が押しつけられるという、実に心のゆがんだようなシステム。
野原一家は息を切らし、全身を汗まみれにして、アトラクションと戦う。
……が、ついに力尽きてギブアップする一家。
アカマミレは「地球温泉化計画」発動の命令を全隊員に告げた。
地底を掘り進みマグマを流出させて、海の温度を上げ極地の氷を溶かし、
地球規模の巨大な温泉を作って、**世界中の風呂好きたちを溺れさせる……**
というバカらしいほどの壮大かつ恐るべき謀略だった。
山を突き破り姿を現す巨大な何か……
それはYUZAMEのコントロールする戦闘用ロボットであった。
ロボットは埼玉県の町並みを破壊し、南の方向へと前進する。
自衛隊が出動し迎撃する。

●敗北感にうちひしがれる温泉Gメン。

だが、ひろしは立ち上がると、「うちにかえる。あそこはおれたち家族の家だ」。野原一家は車に乗り込んだ。
埼玉の街では自衛隊とロボットによる激しい市街戦が繰り広げられていた。
形勢は自衛隊に不利な状況。ロボットは銃弾を跳ね返し、戦車、戦闘機をけちらしながらひたすら前進する。
その向かう先には春日部の町があった。

春日部の野原家では、草津の指揮のもと温泉Gメンが「金の魂の湯」の掘削作業を進めていた。
そこへ到着する野原一家の車。
変わり果てたマイホームにひろしとみさえは激怒し、草津に激しく抗議する。
そんなこととは無関係にロボットは次第に迫ってきていた。
日本の存亡がかかった野原家に総理大臣から電話が入る。
しんのすけはおもしろがって総理のお相手をする。
もう無茶苦茶の状況。
その間にも、地下では掘削作業が進められる……。
ついにロボットが野原家の真ん前に立ちふさがった。
頭部のコックピットからアカマミレの声が響きわたる。
なぜ、温泉を憎み、破壊するようになったか、
その悲しい？過去をえんえんと語るのだった。
ロボットの攻撃のショックで、「金の魂の湯」が湯柱を吹き上げた。
それとともに、温泉の精、と名乗る不思議な男が現われた……。
ものがたりはこれを機に
さらに支離滅裂な方向へと暴走するのであった?!

同時上映
クレしんパラダイス!
メイド・イン・埼玉
楽しい可笑しい嬉しい短篇アニメ集だ。
野原一家、ふたば幼稚園のみんな、
ぶりぶりざえもんやアクション仮面……
おなじみのキャラクターが大集合。
コント、パロディ、ギャグの連続発射。
あっと驚くひまわり主演のお茶の間アクション?
もあれば、
とっても幸せな気分になれる
ミュージカルもある。

見どころがいっぱいのバラエティムービー！
イッツ・ショウ・タイム!!
プログラム
「野原刑事の事件簿」
「ひまわり あ GOGO！」
「不思議の国のネネちゃん」
「ヒーロー大集合」
「私のささやかな喜び」
「ぶりぶりざえもんのぼうけん・銀河編」

原（はら）恵（けい）一（いち）

原　恵一（脚本・監督）プロフィール

1959年7月24日、群馬県生まれ。TVコマーシャルやPR映画の制作会社を経てシンエイ動画に入社。TVアニメシリーズ「怪物くん」「フクちゃん」の製作進行、「ドラえもん」「チンプイ」の演出、「エスパー魔美」のチーフディレクターなどを担当。劇場用中編は「エスパー魔美／星空のダンシングドール」「ドラミちゃん／ハロー恐竜キッズ」「ドラミちゃん／アララ少年山賊団」の監督を手がける。「クレヨンしんちゃん」はTVシリーズの演出から、1997年「クレヨンしんちゃん／暗黒タマタマ大追跡」で長編映画の監督に進出、98年「クレヨンしんちゃん／電撃！ブタのヒヅメ大作戦」、そして今回が三作目にあたる。

監督（かんとく）インタビュー

原監督になってから今回で3作目ですがそれ以前のパラレルワールドやタイムスリップといったネタを扱っていた作品と比べて、どちらかといえば現実感があるアクション系の話が続いていますね。

「ファンタジーとかにあまり興味がないんです。現実と思えるようなところで、ちょっとヘンな事件が起こるというお話が好きなもので。お茶の間系なんですよ、ぼくは（笑）」

それにしても、なぜ、温泉という題材をやることになったんですか？

「原作者である臼井さんとプロデューサーと僕が打ち合わせした場所が、実は健康ランドだったんですよ（笑）。その時に、絶対マジメな打ち合わせができるわけない……と思っていたら案の定、“温泉で行こう！”なんてことになって（笑）。ま、僕も温泉は好きですし。というワケで、これは趣味に走るしかないと（笑）」

それで、怪獣映画なんですね（笑）。

「そう。なにしろ子供の時は、僕にとってゴジラは絶対的な存在だったんですよ。もうゴジラを観て帰ってくると、“スゴイなぁ、やっぱゴジラって最強だよなぁ”なんて思いながら、しばらく夢うつつになっていたんですから。それで観てきた印象なんかを絵に描いたりするんだけど、それが話にならない。なかなか実在感のあるゴジラが描けず“こんなんじゃないよー！”なんてガックリきたりしてね（笑）」

映画のために、改めて怪獣映画を観返したりしたんですか？

「映画というよりも、今回は記憶を引っ張り出すのに、当時の怪獣映画のサントラCDを聞きましたね。そうすると結構、細かなところまでいろいろ思い出せたんです」

映画では実際に、伊福部昭さんの名曲も流れていましたね。

「CDで聞いていたら、やっぱり本物の曲を使いたくなってしまった。代わりの音をつけてもなんか違うよな、やっぱこの曲だよなって感じで。それで、ダメもとでゴジラ映画の音楽を手掛けてきた伊福部昭さんに曲を使ってもいいかどうかおうかがいしてみたんです。そうしたら“好きなように使って下さい”と快くおっしゃってくれて。そういう意味でも今回の映画は昔観て憧れた怪獣映画の焼き直しなんですよ、自分なりの」

伊福部さんの音楽が流れるのにも驚きましたけど、日本映画を代表する大物俳優の丹波哲郎さんがアニメの声に初挑戦というのにも驚きました。

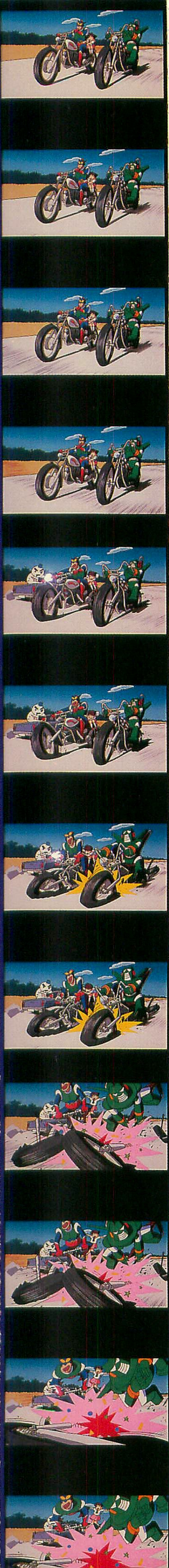
「温泉Gメンというのが出てくるので、Gメンといえば丹波さんだろうと（笑）。でも到底無理だろうと思ってたんですよ。そうしたら“その映画にオレが必要なら出よう”っていって下さって」

うわっ、カッコイイ。

「その言葉を聞いて、なんて素晴らしい人なんだろうって感動しちゃいました。ホント嬉しかったです。絵コンテをやっている途中で出演が決まったんですけど、うれしい反面緊張して。でも、出て下さる以上、丹波さんでなきゃならない役柄にしなきゃと思って。描く手が萎縮しましたよ」

萎縮していたわりに丹波さんに“ぞーさん”をやらせてしまったのはすごい。

「冒険心で、裸のシーンも入れちゃえ、“ぞーさん”も入れちゃえって（笑）。もちろん丹波さんにはキチンとおことわりしましたよ。そうしたら全然OKって。それで“ああ、なんて懐の深い人なんだろう”と。人間的にも参ってしまいましたね。昔、子供の頃に観ていた映画に出演していた人が自分の仕事に参加してくれているんだと思うだけで感激だったし。セリフはかなり意識して作ったんですけど、やはり本物にはかないませんでしたね。今にして思えば、あれだけ特徴のある声優向きの声の方がアニメに出ていなかったのが不思議。アニメに丹波さんを使おうって思いついた人がいなくて感謝していますよ」

取材・文＝永野寿彦

確認!!
劇場用映画〈クレヨンしんちゃん〉シリーズ。

きみは全部観たかな!?

1993年

クレヨンしんちゃん

アクション仮面VSハイグレ魔王

ある朝、新宿の上空にオシリの形をしたUFOが現われ、人間はなぜかみんなハイレグ姿になっていた。不思議世界に連れこまれたしんのすけ。そこでは地球征服をたくらむハイグレ魔王の侵略が始まっていた。頼みの正義の味方アクション仮面は魔王によりパワーを封じられている。地球は絶体絶命の危機にさらされていた。平和を守るためにアクション戦士に選ばれたのは、な、なんと、しんのすけ、だった!!

1994年

クレヨンしんちゃん

ブリブリ王国の秘宝

舞台は南の島ブリブリ王国。クジで当てた海外旅行にはりきって出掛けた野原一家。ところがすべては世界的な悪の組織ホワイトスネーク団の罠だったのである。飛行機を襲われた一家はジャングルに放り出され、サバイバル生活をおくるはめになる。つぎつぎと襲いかかるアクシデント…。ホワイトスネーク団に誘拐されたしんのすけが出会ったのは自分にそっくりなスンノケシ王子だった。二人は秘宝探しの冒険へ！

1995年

クレヨンしんちゃん

雲黒斎の野望

野原一家が戦国時代へタイムスリップ！　平和を守るタイム・パトロール隊の任務に協力するためであった。時間犯罪者の陰謀によって日本の歴史が変えられ、人類が危機にさらされているというのだった。忍者集団の襲撃から、一家を救ってくれたのは少年剣士・吹雪丸。彼は、家族のかたきの妖術使いを倒すために、伝説の救世主〈三人と一匹〉を待っていた。そして、宿敵の雲黒斎こそ時間犯罪者の正体であった！

1996年

クレヨンしんちゃん

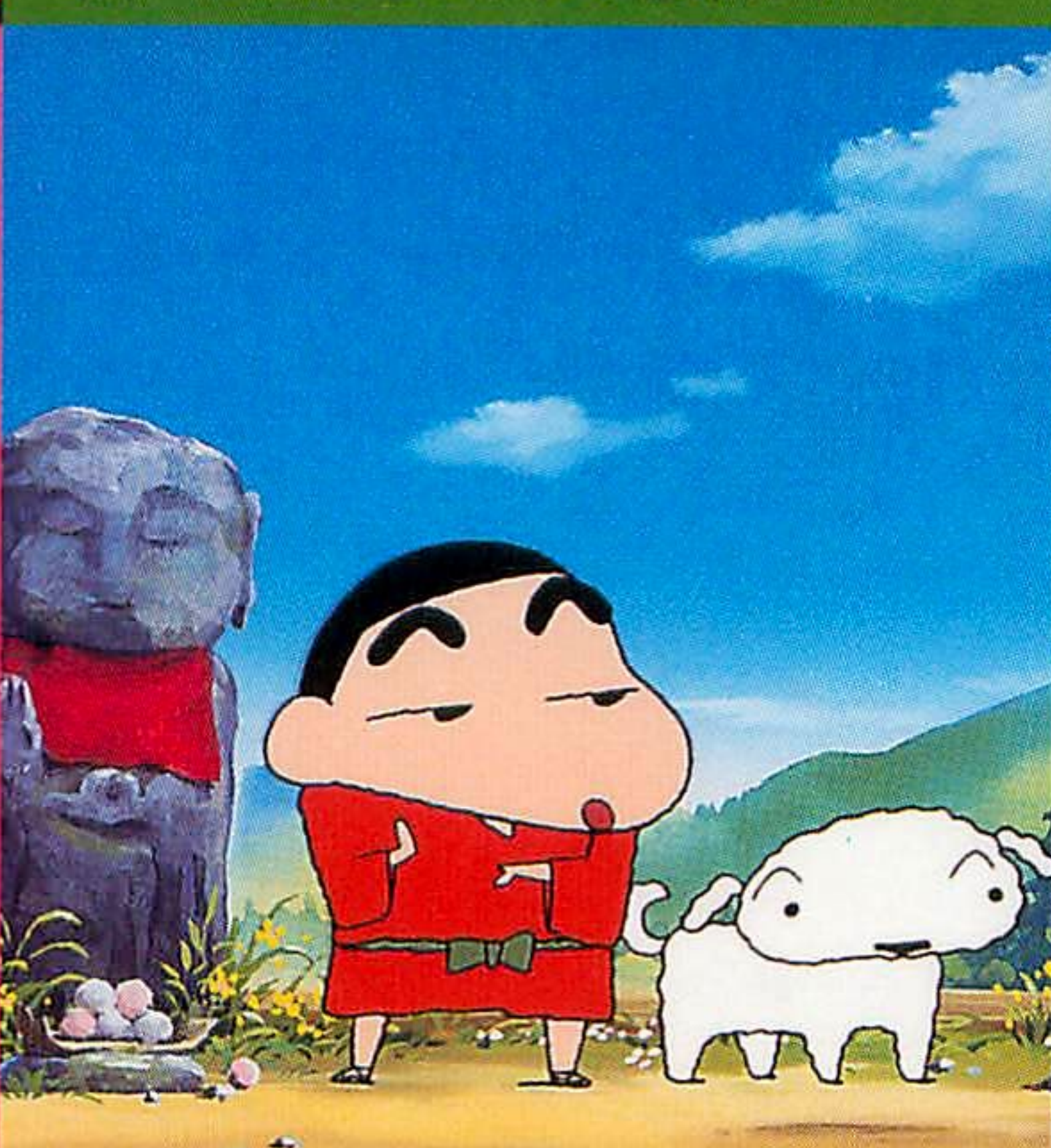
ヘンダーランドの大冒険

ふたば幼稚園の遠足はテーマパーク「群馬ヘンダーランド」。はぐれたしんのすけは、サーカステントにまぎれこみ、美少女にであう。彼女は異次元王国ヘンダーランドの王女で悪の魔法により封じ込められていたのだ。王国を乗っ取ったオカマ魔女は世界征服を企んでいるというのだ。王女を救出するためにあやつり人形のトッペマはしんのすけに助けを求めるが、すげなく断られる……が、結局、野原一家はまきこまれる運命に！

1997年

クレヨンしんちゃん

暗黒タマタマ大追跡

しんのすけが拾った光る玉。それをうっかり飲み込んでしまったのが生まれて間もないひまわり。夜、あやしいオカマ三兄弟が野原家に忍び込み、光る玉を取り戻しにきた。彼らはタマユラ族の子孫。昔、暗黒魔人ジャークを封じ込めたが、その埴輪が盗まれてしまった。タマヨミ族の子孫・ホステス軍団が裏切ったのだった。光る玉を埴輪にはめれば魔人がよみがえる。世界征服の陰謀を阻止するために野原一家は立ち上がった！

1998年

クレヨンしんちゃん

電撃！ブタのヒヅメ大作戦

屋形船で宴会を楽しむふたば幼稚園のみんな。海の中から救いを求めてきたのは、世界平和を守る秘密組織SMLのお色気と名乗る女性だった。その屋形船を、奇妙な飛行船がさらってしまった。行方不明になったしんのすけを心配する野原家のもとにSMLの筋肉という男が現われ、世界征服を企むブタのヒヅメの仕業だと告げる。やがて、恐るべき陰謀の裏にしんのすけの書いたぶりぶりざえもんの落書が関わってくる……!!

1999年

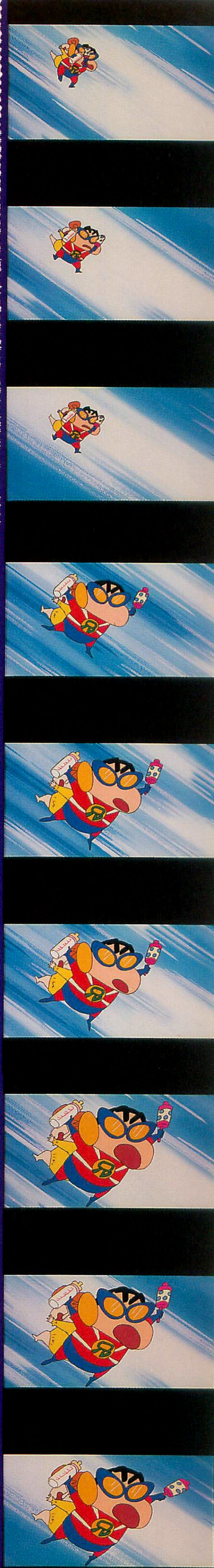
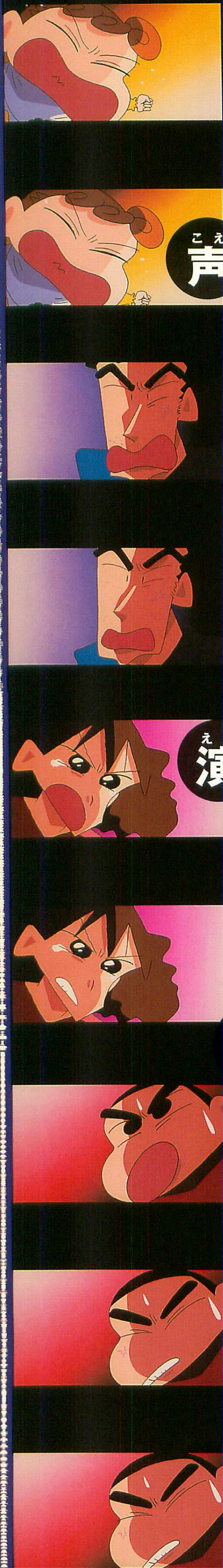
クレヨンしんちゃん

爆発！温泉わくわく大決戦

同時上映

クレしんパラダイス! メイド・イン・埼玉

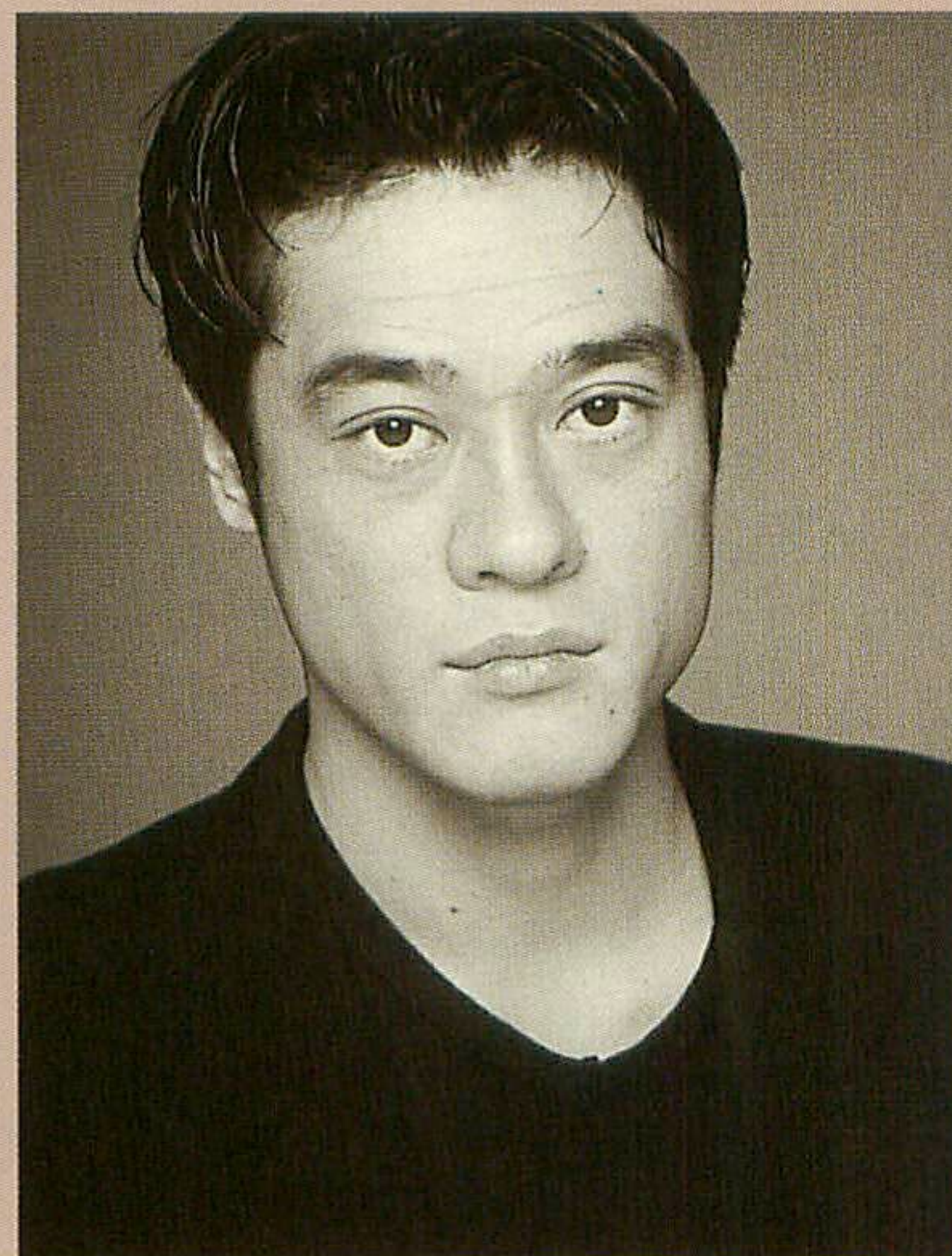
みたなあああ！

声の出演者からの

矢島晶子（しんのすけ）

映画版はいつも濃いキャラクターのオンパレードなんですが、今回、特に前半は草津、アカマミレ、温泉の精のオヤジ３人に『クレしん』が乗っとられているって感じです（笑）。もうしんちゃんの存在感を忘れられてしまうんじゃないかと思うくらい強烈。なんだか絵柄的には『クレしん』じゃないみたい！って場面もあるし。巨大ロボットとの対決もあるし……。でもロボットアニメを想像されると、あまりにも違うんで「なんだぁ!?」って拍子抜けしちゃうかもしれない。

やっぱり『クレしん』は基本的には愛の物語ですからね（笑）。今回もね、悪人にキチンと悪い人間になった理由を聞いて、そこに至るまでを理解してあげようとする場面があるんです。そういうことって、この殺伐としたご時世ではなかなかないですよね。私はそんな『クレしん』の姿勢が大好きなんですよ、ま、キャラクターはヘンですが（笑）、そんな愛の詰まった作品なので楽しんで下さい。

ならはしみき（みさえ）

“クレしんパラダイス”のラストがミュージカルなんです。楽しい収録だったんですが、そこで使われた曲は収録日当日に教えていただいたんですよ。最初、その曲が流れていたんですが、もしかしたら曲に合わせて喋るのかなと思っていたら、それを歌いますと言われて。結局、監督が模範で曲を歌って、それをその場で１０分間程度で覚えて演じました。ま、曲自体が難しくなかったのでそんなに苦労しなかったから良かったんですけどね。その短編はもちろん、今回も収録中に吹きだしたくなるようなシーンが満載でしたね。特に『クレしん』を観るくらいの子供を連れたお父さんお母さんへのサービスがバツグン、前にも「お前、（『ド根性ガエル』の）ピョン吉みたいだぞ」ってセリフがあって、一部の大人が大爆笑したなんてことがあったんですが、今回も温泉Ｇメンとかね（笑）。笑いのツボを押さえたギャグ満載なので、大人の方もかなり楽しんでいただけると思います。

藤原啓治（ひろし）

今回の見どころですか!?　いや～、全てが見どころですよ。もう東宝のマークが出てきたところからすでに面白いって感じで（笑）シリーズ初の２本立てですし、もうめいいっぱい楽しんでいただけるんじゃないかな。

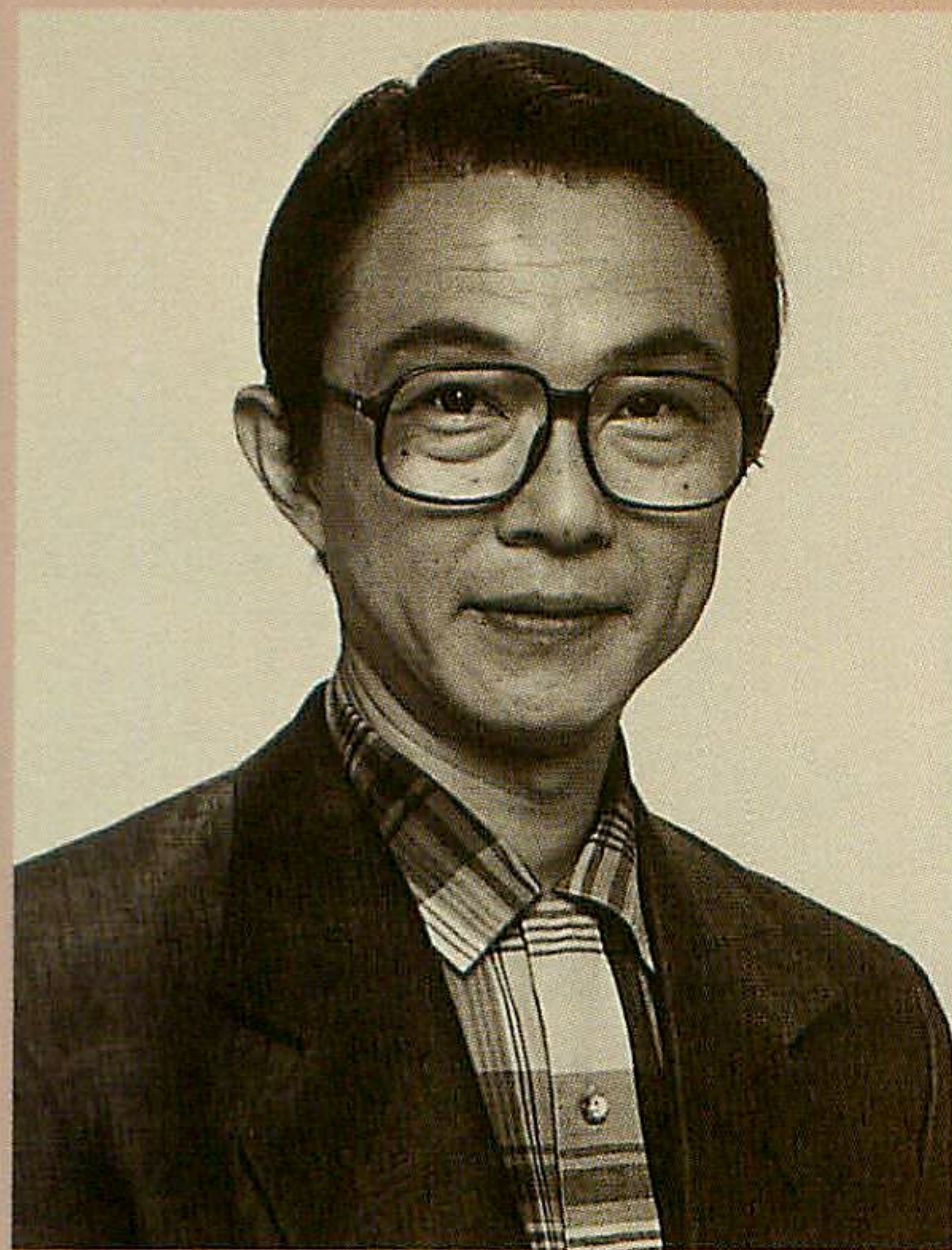
また映画ではひろしがいい台詞を言うんですよ。どうしてもシリーズは日常の話がベースになるから情けないパターンが多いんですが、映画では家族で団結して戦う場面が多いから家長としての威厳を必要とされるんですよね。そういうひろしを演じられるのが映画版の醍醐味かもしれないですね。

しかし今回ほど収録中に焼き肉食べたい、温泉行きたいって思ったことはなかったです（笑）。特に僕は温泉大好きなんですよ。しかも絶対に２泊以上する。温泉旅館って朝が早いでしょ。だから２日目に朝食をとってからもうひと眠りして風呂に入る。これがいいんですよ。１日５～６回は入ります。ヒマになったらひなびた温泉に行きたいなぁ。

こおろぎさとみ（ひまわり）

短編のほうで、ひまわりの視点でずっと画面が変わっていく話があるんです。もう立体メガネかけて見るの!?　っていうくらい、すごい揺れ方したりする。うっかりしていると酔っちゃうんじゃないかと思うくらい（笑）でも本当に子供の視線で見てるって感じで面白いんですよ。ただひまわりは移動する時にずっと「タッタッタッタッ……」って言い続けているんで、途中でやや酸欠状態になりましたけど（笑）。いや～、でも声優という仕事について１０年になりますけど、こんな斬新な企画は初めて！　台本を読んだ時に“カット１”（１カットでやる）と書かれていた時どうするんだろうと想像もつかなかったんですけど。誰もやらなかったようなことをやる『クレしん』シリーズは、やっぱりタダモノじゃないな……思いましたね。

あと今回の見どころと言ったら、なんといってもクライマックスの家族の合体。これは予期しないスゴイ合体なのでお楽しみに！

取材・文＝横森　文

小川真司(草津)

おがわしんじ

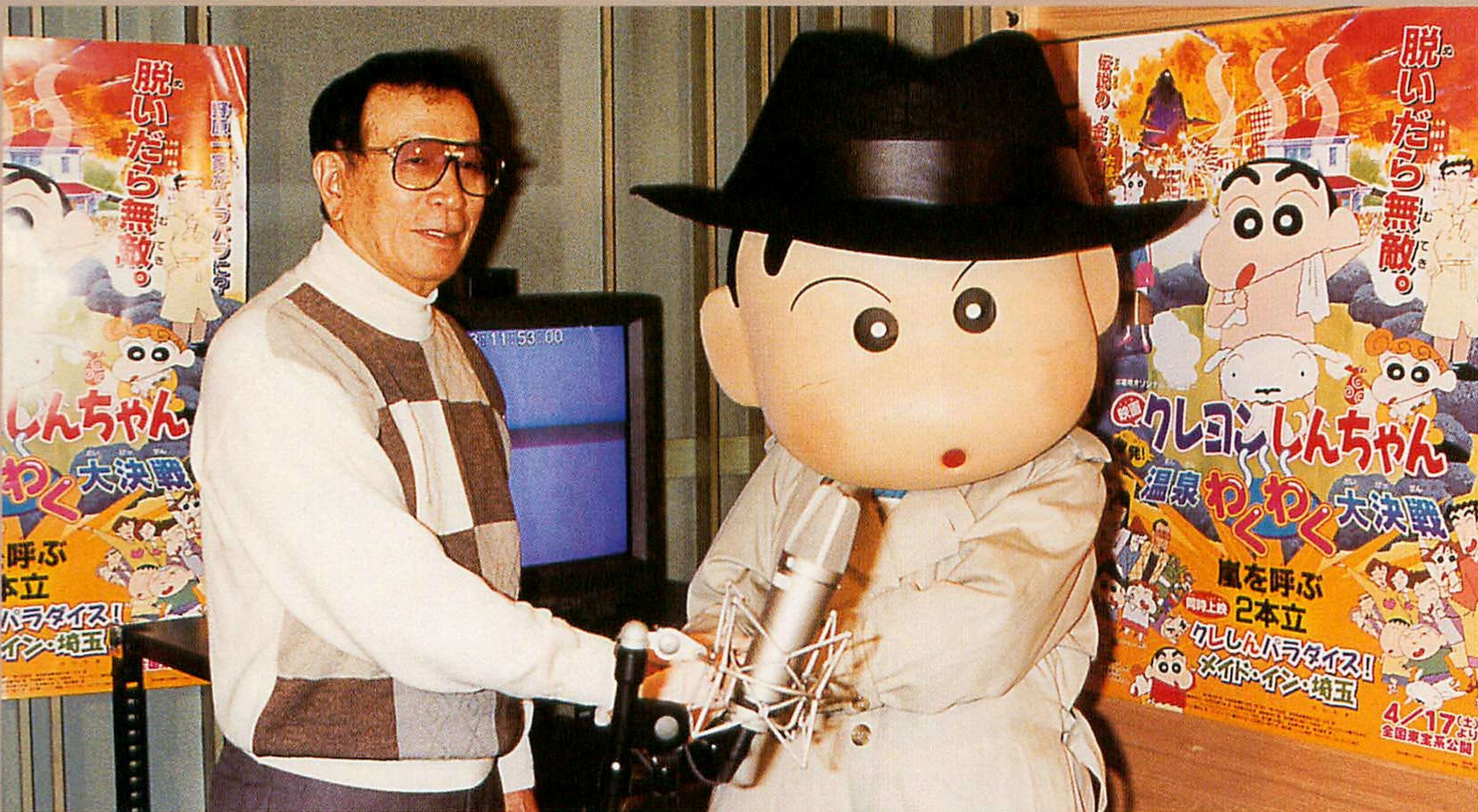
子供と一緒に『クレヨンしんちゃん』のTVシリーズはよく観ているんですよ。ウチの子供も小さい頃はしんちゃんのマネとかしていましたから(笑)。だから矢島さんなどとご一緒するのは楽しみでしたね。

僕が演じる草津は温泉Gメンの隊長なんですが、キャラクターはまるで江戸の職人さんみたいなんです。キップが良くて熱いお風呂が大好きで、昔の日本人の理想的な男タイプ。もともと僕はどの作品でもあまり役を作ったりしないんです。今回も違和感なく自然にキャラクターは演じることができましたね。でもだからといって草津の性格と僕が似ているというわけではないですよ。草津同様、僕も温泉は好きなんですが、僕はぬるいお湯じゃないとダメなんです。よく家族で温泉旅行に行きますが、誰も入っていないと水でうめちゃったりする(笑)。ホントは露天風呂とか好きなんですが、だいたい熱くて湯船に長くつかれないんですよね(笑)。

家弓家正(アカマミレ)

かゆみいえまさ

『クレヨンしんちゃん』に関わるのは、今回が初めてなんですよ。だからスタジオの雰囲気もわからなかったし、台本を読んでいてもどうもつかみきれなくて、「どうしようかな」ととまどいながら収録にのぞみました。僕は最初に脚本を読んだ時は、普通の芝居じゃいけないのではないかと思ったんですよ。でも演出からはやりすぎないで普通の演技でいって下さいと言われて。だからずっと今回は手さぐり状態で演じていたって感じです。ホント、どんな風にできあがるのか、観てみないとわからないので僕としても楽しみですね。

アカマミレは悪いこともしますが、ホントは哀しい人なんです。青春時代に受けたコンプレックスを中年まで持ち続けているんですから。実際はただの野球好きの平均的な市民なのに。ま、そのへんをお客さんにもご理解していただきたいなと。悪役を演じることは多いんですが、こんな風に実は良い人の悪役は初めて。記憶に残る作品になりそうです。

丹波哲郎(温泉の精)

たんばてつろう　おんせん　せい

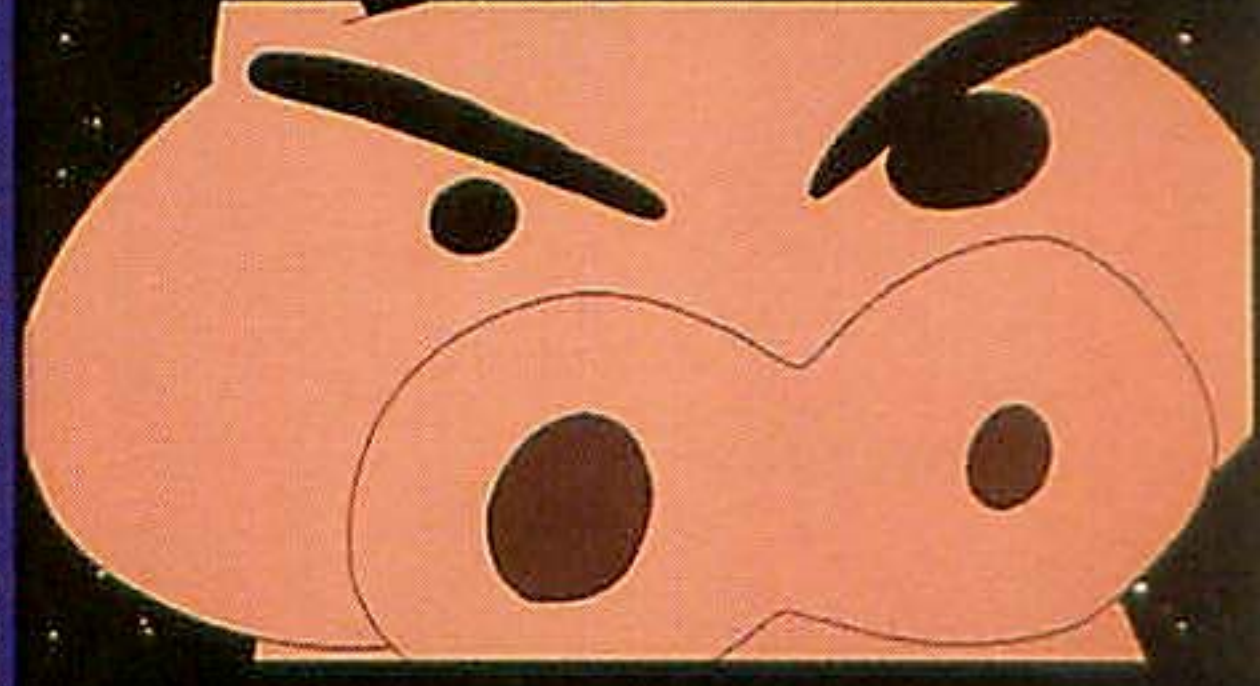
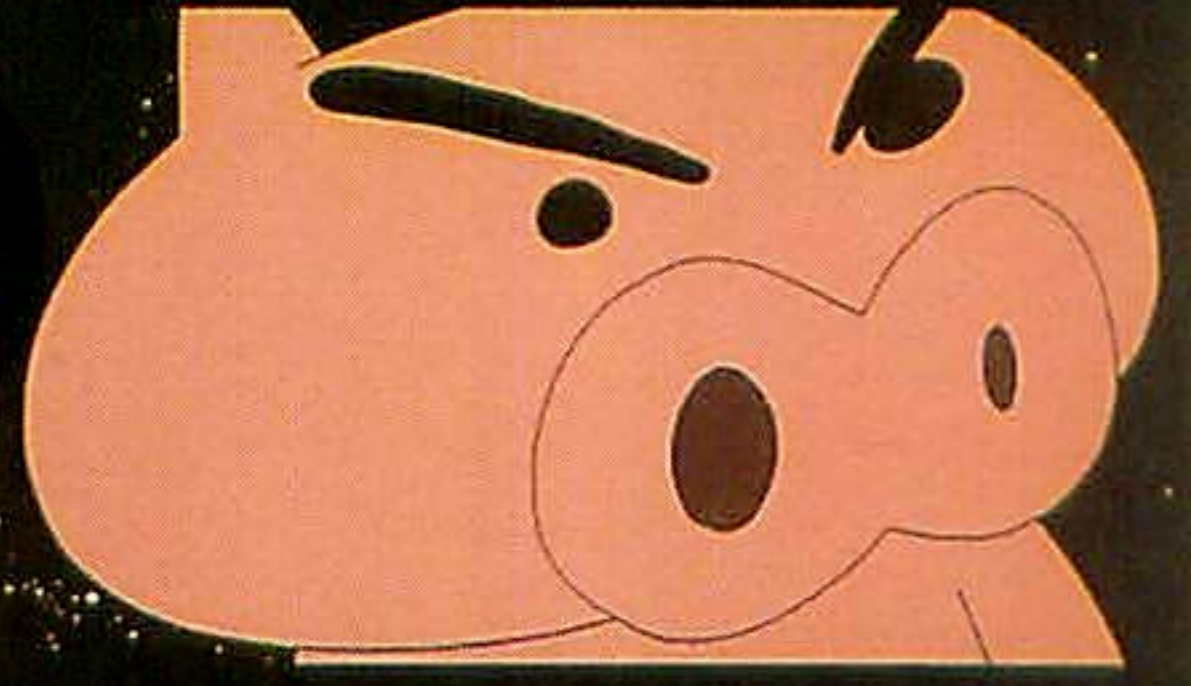
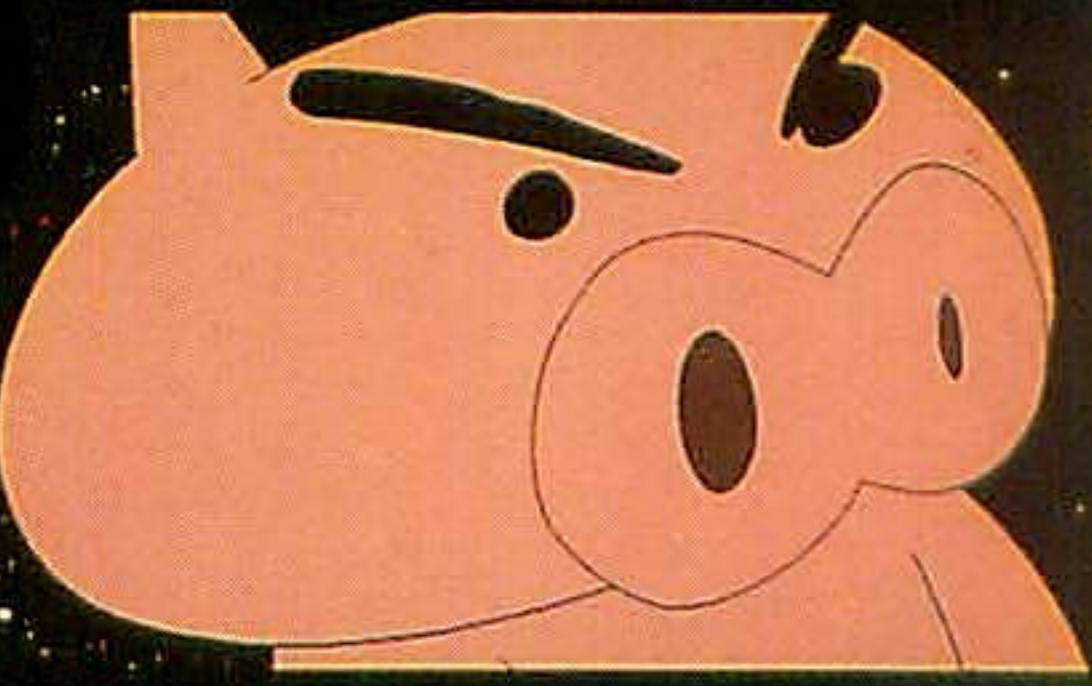
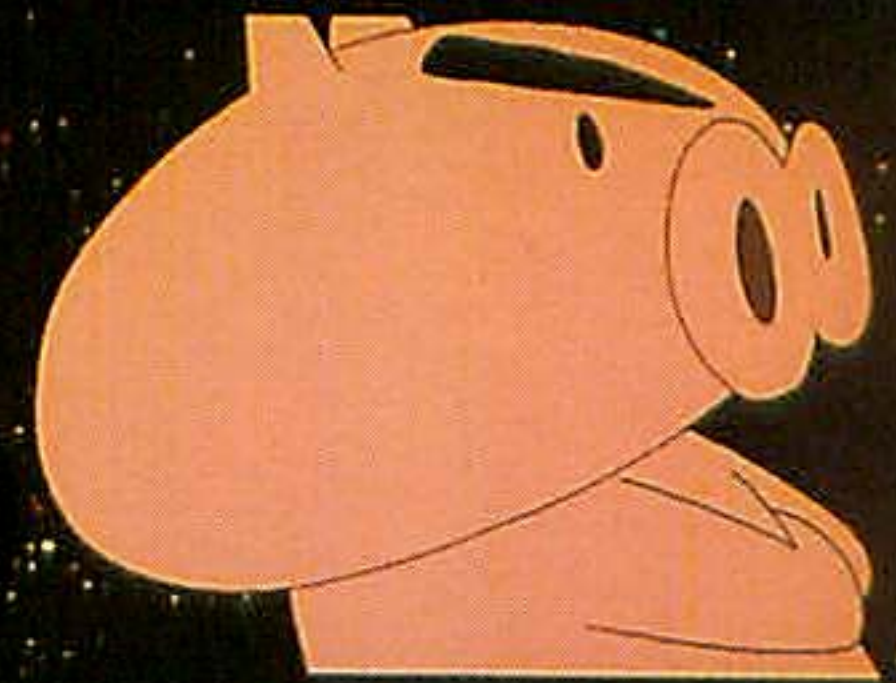
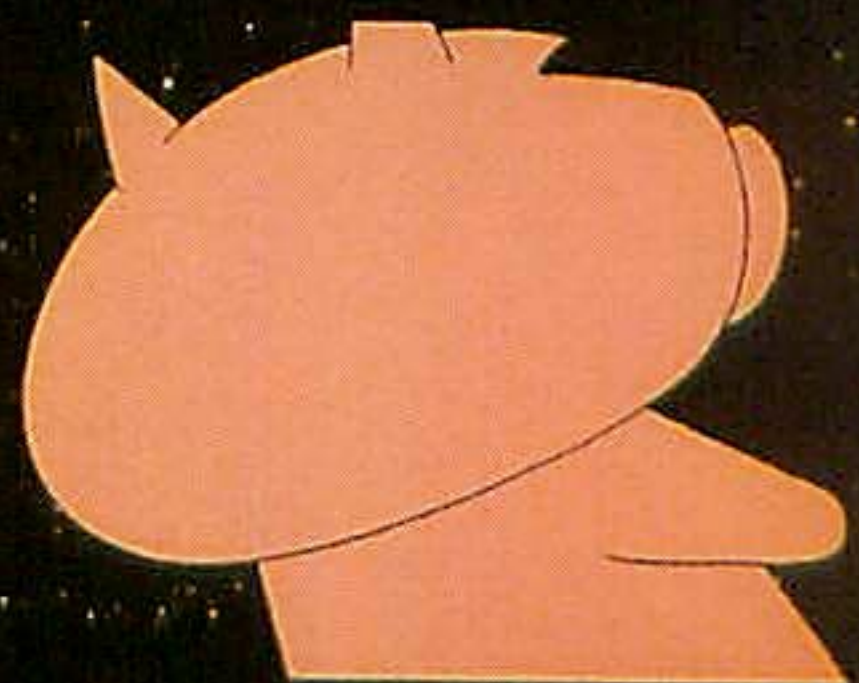
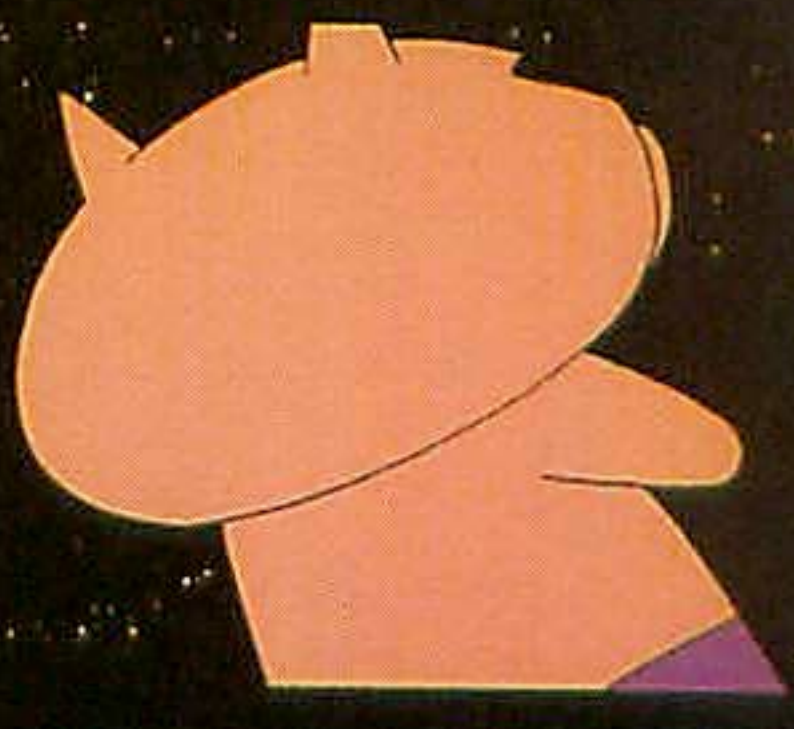
私が丹波だ。今回は映画「クレヨンしんちゃん」に声の出演をしておる。私が演じるのは「温泉の精」。正しい入浴者の願いを叶えてやるという神秘的な役どころである。その名前もタンバ、絵も私にそっくりにカッコよく描かれているぞ。

実はアニメーションは初体験なのだ。むずかしいような、やさしいような、複雑な思いだけど楽しかったな。セリフのしゃべり方は監督の意見を取り入れながら数パターンを披露して、その中からベストのものを使ってもらった。私の声は特徴があるらしいな、セクシーとの意見もある。幅広い年齢層に人気があるんだぞ。以前、京都では修学旅行の女子高生に「霊界さん」なんて呼ばれたりな。それに、私と握手をすると健康になるとも言われている。

温泉は大好きだ。特に露天風呂、混浴ならなおよろしい。大自然に浸って、心を開放するのさ。気分いいぞ。

アニメは自由に描けて夢がある。日本のアニメは一流だし、これからも世界をリードしていくだろう。この映画はヒットするよ。私が言うのだから間違いない!

コメント

主題歌

映画「クレヨンしんちゃん　爆発！温泉わくわく大決戦」

「とべとべおねいさん」

作詞・作曲・編曲●もつ
歌●のはらしんのすけ＆アクション仮面（BMGジャパン）

まもりたい　あなたを　まのびした　わたしを
ちきゅうがむちゅう　みんなのヒーローさ
愛だらけ　さいたま　そらのはて　みえたら
おねいさん　あしたを　まゆげにのせて
きもちぃぃ　きもちいい　ココロヨイきもち
とべとべ　ゆめの　どんどんづまりまで

くらやみの　まものは　うみならば　マグロか？
キリがいいとこで　手と手とあわせよう
まぶしさの　みらいが　たのもしい　ホントさ
おねいさん　こんやも　ゆめをありがとう
きもちぃぃ　きもちいい　ココロヨイゆめが
とべとべ　もうチョット　目がさめるまで

すばらしい　自然に　ゴミすてちゃ　ダメなの
むてきのうらわざが　ドンドンでてきちゃう
きもちぃぃ　きもちいい　ココロヨイゆめが
とべとべ　もうチョット　目がさめるまで
とべとべ　もうチョット　目がさめるまで
とべとべ　もうチョット　目がさめるまで

エンド主題歌

映画「クレヨンしんちゃん　爆発！温泉わくわく大決戦」

「いい湯だな」

作詞●永六輔　作曲●いずみたく　編曲●遠山無門
歌●野原一家と温泉わくわく99

いい湯だな　いい湯だな
湯気が天井から
ポタリと背中に
つめてェな　つめてェな
ここは上州　草津の湯

いい湯だな　いい湯だな
誰が唄うか
八木節か
いいもんだ　いいもんだ
ここは上州　伊香保の湯

いい湯だな　いい湯だな
湯気にかすんだ
白い人影
あの娘かな　あの娘かな
ここは上州　万座の湯

いい湯だな　いい湯だな
日本人だなァ
浪花節でも
うなろかな　うなろかな
ここは上州　水上の湯

映画クレヨンしんちゃん 爆発!温泉わくわく大決戦

同時上映 クレしんパラダイス!メイド・イン・埼玉

スタッフ

原作……………………臼井儀人（らくだ社）
監督・脚本……………原　恵一

演出……………………水島　努
作画監督………………原　勝徳
堤　規至
間々田益男

美術監督………………高野正道
天水　勝
撮影監督………………梅田俊之
録音監督………………大熊　昭
効果……………………松田昭彦
編集……………………岡安　肇
音楽……………………荒川敏行
浜口史郎
ねんどアニメ…………石田卓也
制作デスク……………魁生　聡

プロデューサー………茂木仁史
太田賢司
堀内　孝

制作……………………シンエイ動画
テレビ朝日
ASATSU-DK
配給……………………東宝

声の出演

しんのすけ……………矢島晶子

みさえ…………………ならはしみき
ひろし…………………藤原啓治
ひまわり………………こおろぎさとみ

草津……………………小川真司

後生掛…………………引田有美
指宿……………………田村ゆかり
カオル…………………折笠　愛
ジョー…………………岩永哲哉
青年アカマミレ………中村大樹

アカマミレ……………家弓家正

園長先生………………納谷六朗
よしなが先生…………高田由美
まつざか先生…………富沢美智恵
上尾先生………………三石琴乃

風間くん………………真柴摩利
ネネちゃん……………林　玉緒
マサオくん……………一龍斎貞友
ボーちゃん……………佐藤智恵

自衛隊隊長……………玄田哲章
ぶりぶりざえもん……塩沢兼人
団　羅座也……………茶　風　林

臼井儀人………………臼井儀人

温泉の精………………丹波哲郎

スタッフ

原作……………………臼井儀人（らくだ社）
監督……………………水島　努
美術……………………野村可南子
撮影……………………梅田俊之
録音……………………大熊　昭
効果……………………松田昭彦
編集……………………岡安　肇
音楽……………………荒川敏行
浜口史郎

声の出演

しんのすけ……………矢島晶子
みさえ…………………ならはしみき
ひろし…………………藤原啓治
ひまわり………………こおろぎさとみ

園長先生………………納谷六朗
よしなが先生…………高田由美
まつざか先生…………富沢美智恵
上尾先生………………三石琴乃

アクション仮面………玄田哲章
カンタムロボ…………大滝進矢
ぶりぶりざえもん……塩沢兼人

風間くん………………真柴摩利
ネネちゃん……………林　玉緒
マサオくん……………一龍斎貞友
ボーちゃん……………佐藤智恵
ネネママ………………萩森侚子

部長……………………郷里大輔
川口……………………中村大樹
ミッチー………………草地章江

発行日：1999年4月17日
発行者：平沼久典
発行所：東宝㈱　出版・商品事業室
東京都千代田区有楽町1-2-1
編集：㈱スタジオ・ジャンプ
東京都港区南青山5-6-26
印刷所：成旺印刷株式会社
東京都港区芝2-1-28
定価500円（税込み）

http://www.toho.co.jp